

Engineering Software Development

WEST FIELD

>> 土木技

Civil-CALS

Road-CALS

【工程表

作成システム】

使用説明書

ご使用前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。

本書をすぐに利用できるように保管してください。

ウェストフィールド株式会社

はじめに

このたびは、ウェストフィールド「工程表作成システム(ネットワーク式対応)」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。「工程表作成システム(ネットワーク式対応)」は、身近な提出書類を簡単な入力で作成できるシステムです。

本書は、本製品の基本的な操作手順や取り扱い方法について説明しています。本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。またお読みになった後は大切に保管してください。

ウェストフィールド株式会社

*** 重 要 ***

- このソフトウェアおよびマニュアルの1部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ソフトウェアは、コンピューター1台につき1セット購入が原則となっています。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- 大切な文書やデータは、必ずコピー(複製)をとってください。お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生したりした場合、文書やデータが消失することがあります。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータに関し、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障による障害、文書やデータの損失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書で扱う用語および操作方法について

本書では、Windows の標準的な用語および操作方法を使って説明しています。Windows を使用したことのない方はあらかじめ操作してみるか、あるいは「Microsoft Windows98/Me/2000/XP ファーストステップガイド」など Windows に添付されているマニュアル類を通読されることをおすすめします。

なお、「工程表作成システム」で使用される用語については、本使用説明書巻末の「用語の説明」をご参照願います。

Contents 目次

起動と終了	1
起動.....	1
工程表を新規作成する.....	1
作成済みの工程表を編集する.....	5
終了.....	6
工程表を新規登録する.....	6
工程表を上書き保存する.....	7
画面について	8
工程表(バーチャート)全体画面 バー表示.....	8
工程表(バーチャート)左側画面 バー表示1.....	9
工程表(バーチャート)左側画面 バー表示2.....	10
工程表(バーチャート)右側画面 バー表示.....	11
工程表(バーチャート)全体画面 数量表示.....	12
工程表(バーチャート)左側画面 数量表示.....	13
工程表(バーチャート)右側画面 数量表示.....	14
工程表(ネットワーク風バーチャート)全体画面.....	15
工程表(ネットワーク風バーチャート)左側画面.....	16
工程表(ネットワーク風バーチャート)右側画面.....	17
工程表(ネットワーク)画面.....	18
「工事名登録」画面.....	19
「用紙設定」画面.....	20
「計画用休日設定」画面.....	21
「バナナ曲線登録」画面.....	22
「項目名変更」画面.....	23
「用語選択」画面.....	24
「用語一覧」画面.....	25
「Navi辞書」画面.....	26
「カスタム辞書」画面.....	27
「単位」画面.....	28

「各工種の期間指定」画面.....	29
工程移動について.....	30
「バーチャート印刷設定」画面.....	31
「Excel 出力指示」画面.....	33
「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面.....	34
「ネットワーク印刷設定」画面.....	35
「レイアウト表示」画面.....	36
「印刷プレビュー」画面.....	37
「変更回数指定」画面.....	38
「空白期間入力」画面.....	39
「空白期間編集」画面.....	40
「工程表」画面のメニュー.....	41
[設定]メニュー.....	41
[表示]メニュー.....	41
[編集]メニュー.....	42
[ヘルプ]メニュー.....	42
「用語一覧」画面のメニュー.....	43
[ファイル]メニュー.....	43
[編集]メニュー.....	43

データの入力..... 44

当初計画.....	44
バーチャート.....	44
ネットワーク風バーチャート.....	47
ネットワーク.....	48
変更計画.....	51
バーチャート.....	51
ネットワーク風バーチャート.....	56
ネットワーク.....	58
実施.....	61
バーチャート.....	61
ネットワーク風バーチャート.....	64
ネットワーク.....	65

印刷..... 68

全国2 (バナナチャート版)	70
全国2の起動	70
工程表を新規作成する	70
工程表(バナナチャート)左側画面　バー表示.....	71
バナナ曲線登録画面.....	72
「工事名登録」画面.....	72
「工事名登録」画面.....	73
「印刷設定」画面.....	74
「項目名変更」画面.....	76
ロゴ出力の例.....	77
「工程表」画面のメニュー	78
[設定]メニュー.....	78
付録	79
用紙の設定について	79
「vacation.ini」ファイルの編集について.....	82
「Event.ini」ファイルの変更について.....	84
「ItemEdit.ini」ファイルの変更について.....	86
こんなときには.....	91
用語の説明.....	93

起動と終了

起動

工程表を新規作成する

土木Bookの親インデックス《NW工程表》の  をクリックします。

「NW工程表」の子インデックス《全国1》が表示されます。

補足 親インデックス《NW工程表》をダブルクリックしても、子インデックス《全国1》を表示することができます。

《NW工程表》の子インデックス《全国1》をクリックし、[入力] ボタンをクリックします。

「工事名登録」画面が表示されます。



工事名登録を行い、[OK] ボタンをクリックします。

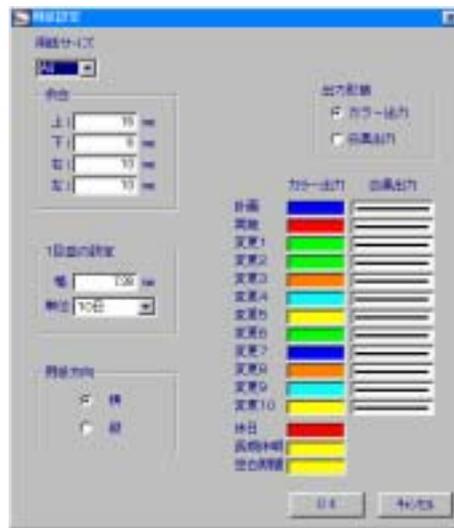
重要

指定できる工期の長さは、当初計画から変更計画のすべての工期で5年までです。実施計画入力時は、工期の指定はできません。

補足

工期の初期値は当日の日付から1年です。

「用紙設定」画面が表示されます。



用紙の設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

重要

ここで設定された「用紙サイズ」、「余白」、「1目盛の設定」、「用紙方向」、「出力形態」、「カラー出力」、「白黒出力」は、「バーチャート印刷設定」画面 (P.31)、「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面 (P.34) にも反映されます。

「計画用休日設定」画面が表示されます。

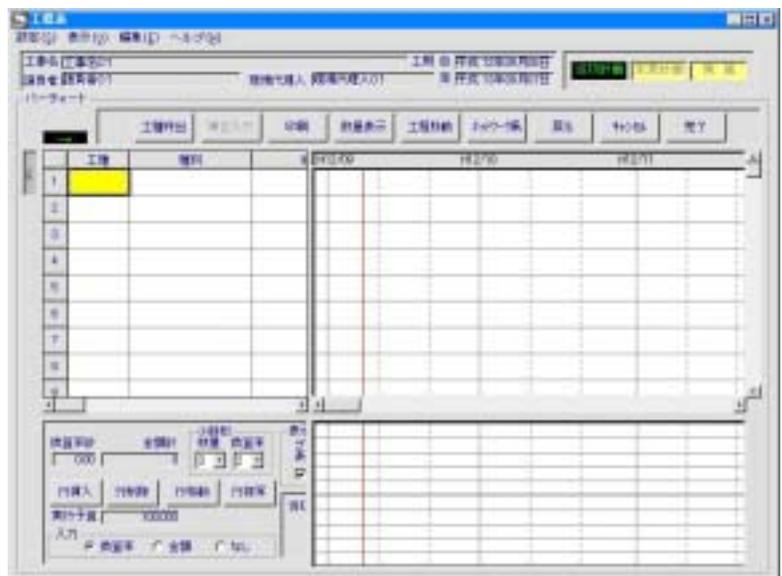


休日の設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

補足 「休暇名」のリストには、工程表作成システムのインストールフォルダにある「vacation.ini」ファイルに記述されたものが表示されます。必要に応じて「vacation.ini」ファイルを編集してください。

参照 「vacation.ini」ファイルの編集については、「付録」の「「vacation.ini」ファイルの編集について」(P.82)をご覧ください。

「工程表」画面が表示されます。



当初計画のデータを入力します。



当初計画データの入力については、「データの入力」の「当初計画」(P.44)をご覧ください。

作成済みの工程表を編集する

土木Bookの親インデックス《NW工程表》の  をクリックします。

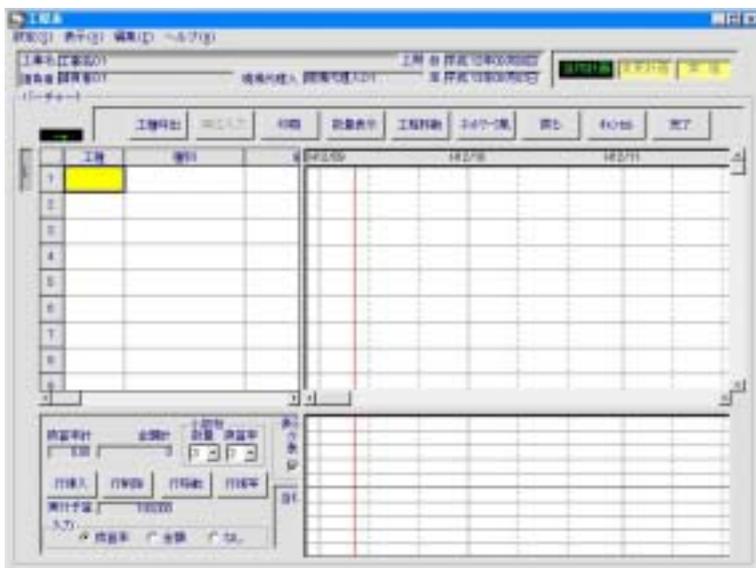
「NW工程表」の子インデックス<全国1>の下に作成済みの工程表名がついたインデックスが表示されます。

作成済みの工程表名の付いたインデックスをクリックします。

子インデックスの色が青に変わります。

画面上部の[入力]ボタンをクリックします。

「工程表」画面が表示されます。



[当初計画] ボタン、[変更計画] ボタン、[実施] ボタンのいずれかをクリックします。

当初計画、変更計画、実施のデータを入力します。



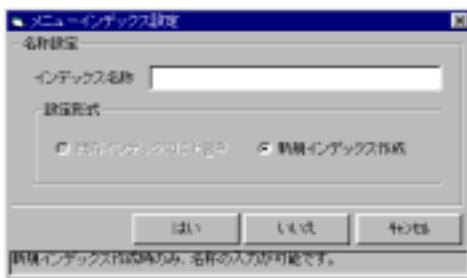
データの入力については、「データの入力」の「当初計画」(P.44)、「変更計画」(P.51)、「実施」(P.61)をご覧ください。

終了

工程表を新規登録する

「工程表」画面の [完了] ボタンをクリックします。

「メニューインデックス設定」画面が表示されます。



インデックス名称を入力し、[はい] ボタンをクリックします。

新しい工程表のインデックスが作成され、土木 Book のメニュー画面に戻ります。

補足 [いいえ] ボタンをクリックすると、作成した工程表を登録せずに土木 Book のメニュー画面に戻ります。

工程表を上書き保存する

「工程表」画面の [完了] ボタンをクリックします。

「メニューインデックス設定」画面が表示されます。



[はい] ボタンをクリックします。

工程表が上書き保存され、土木 Book のメニュー画面に戻ります。

補足 [いいえ] ボタンをクリックすると、編集した工程表を登録せずに土木 Book のメニュー画面に戻ります。

画面について

「工程表」画面には、バーチャート・ネットワーク風バーチャート・ネットワークの3種類があります。

工程表（バーチャート）全体画面 バー表示

工事名・工期・請負者・現場代理人
「工事名登録」画面 (P.19) で登録
されたものが表示されます。

メニューバー
メニューを表示します。

[当初計画] ボタン
当初計画データを入力します。

[変更計画] ボタン
変更計画データを入力します。
新規登録時は使用できません。

[実施] ボタン
実施データを入力します。
新規登録時は使用できません。

[工種呼出] ボタン
「用語選択」画面 (P.24) または
「Navi 辞書」画面 (P.26) から
工種や種別を選択します。

[単位入力] ボタン
「単位」画面 (P.28) から単位
を選択します。

[印刷] ボタン
印刷を行います。
印刷の手順については「印刷」
(P.68) をご覧ください。

[数量表示] ボタン
右画面が月別数量表示画面に
換わります。

[工程移動] ボタン
工程をスライドさせます。
工程移動の手順については
工程移動について (P.30) をご
覧ください。

[ネットワーク風] ボタン
ネットワーク風バーチャート
(P.15) を表示します。

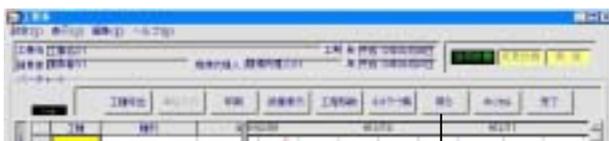
[キャンセル] ボタン
データを保存せずに終了
します。

[完了] ボタン
工程表の作成を終了します。

左側画面 (P.9)

右側画面 (P.10)

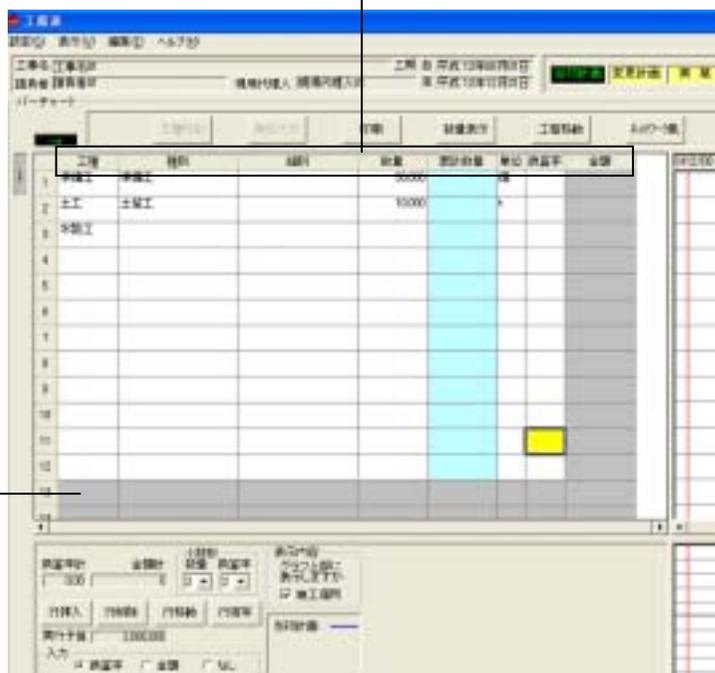
マウスで境界線をドラッグすると画面の割合を変えられます。
(新規入力時)



[戻る] ボタン

「計画用休日設定」画面に戻ります。

工程表 (バーチャート) 左側画面 バー表示 1



「バーチャート印刷設定」画面の設定値で
印刷不可能行の背景色をグレーで表示します。

補足

[shift] + Enter で2行までの入力が可能です。

工種

工種を20文字以内で入力します。
[shift] + Enter で改行します。
[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

種別

種別を20文字以内で入力します。
[shift] + Enter で改行します。
[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

細別

細別を20文字以内で入力します。
[shift] + Enter で改行します。
[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

数量

数量を整数7桁、小数点以下3桁以内で入力します。

累計数量

月別出来高数量の合計が表示されます。

単位

単位を入力します。
「累計数量」から [Enter] キーで横移動する場合、または [単位入力] ボタンをクリックした場合に表示される「単位」画面 (P.28) から選択するか、キーボードから直接入力します。

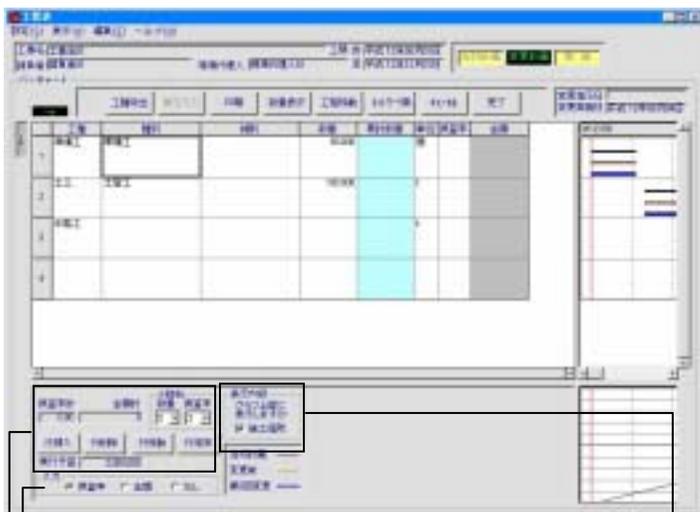
換算率

「入力」で換算率が選択されている場合、全工種の合計が100になるように換算率の小数桁で入力します。ただし「入力」で金額が選択されている場合は、金額 / 請負金額 (または実行予算) × 100 の値が表示されます。

金額

「入力」で金額が選択されている場合、全工種の合計が請負金額 (または実行予算) と等しくなるように金額を入力します。ただし、「入力」で換算率が選択されている場合は表示されません。

工程表（バーチャート）左側画面 バー表示 2



入力

入力するものを換算率・金額・なしから選択します。
なしを選択した場合、換算率と金額は入力できず、
進捗率グラフは表示されません。

— 換算率計 換算率の合計が表示されます。

— 金額計 金額の合計が表示されます。

— 小数桁

換算率 小数点以下の桁数を0・1・2から選択します。

数量 月別出来高数量、数量の小数点以下の桁数を
0~3から選択します。

— [行挿入] ボタン

選択中の行の上に行を挿入します。

— [行削除] ボタン

選択中の行を削除します。

— [行移動] ボタン

クリックした後移動先の行を選択し、[Enter]
キーを押すと、ボタンをクリックしたときに
選択されていた行が移動されます。

— [行複写] ボタン

クリックした後複写先の行を選択し、[Enter]
キーを押すと、ボタンをクリックしたときに
選択されていた行が複写されます。

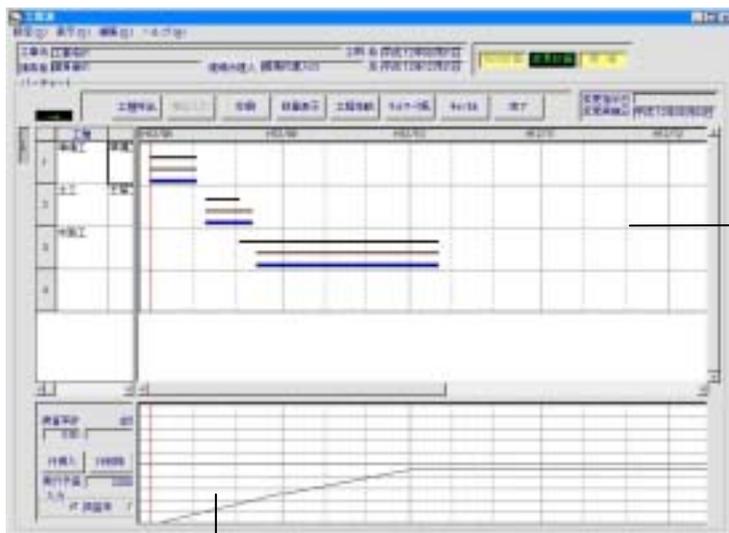
— 実行予算

請負金額または、実行予算が表示されます。

表示内容

横棒グラフの上部に施行箇所を
表示するかどうかを設定します。
施行箇所を表示する場合、チェ
ックマークを付けます。

工程表（バーチャート）右側画面 バー表示



横棒グラフ表示部

各工種ごとに、マウス操作で入力します。

入力時のドラックは左右どちらからでも行えます。

表示される「各工種の期間指定」画面で、期間を指定し施行箇所名を入力します。

入力済みの横棒を右クリックすると削除することができます。

進捗率グラフ表示部

進捗率がグラフで表示されます。

工程表（バーチャート）全体画面 数量表示

工事名・工期・請負者・現場代理人
「工事名登録」画面（P.19）で登録されたものが表示されます。

メニューバー
メニューを表示します。

左側画面（P.13）

右側画面（P.14）

マウスで境界線をドラッグすると画面の割合を変えられます。

[当初計画] ボタン
当初計画データを入力します。

[変更計画] ボタン
変更計画データを入力します。

[実施] ボタン
実施データを入力します。

[職種呼出] ボタン
「用語選択」画面（P.24）または「Navi辞書」画面（P.26）から職種や種別を選択します。

[単位入力] ボタン
「単位」画面（P.28）から単位を選択します。

[印刷] ボタン
印刷を行います。
印刷の手順については「印刷」（P.68）をご覧ください。

[バー表示] ボタン
右側画面がバー表示画面に換わります。

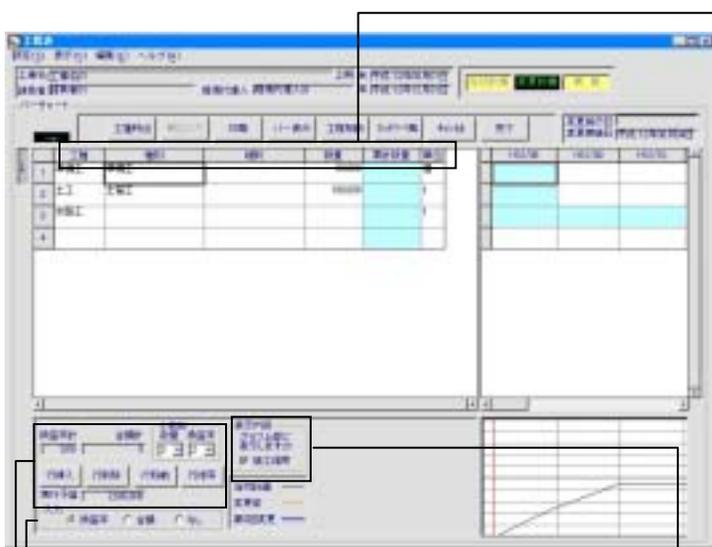
[工程移動] ボタン
工程をスライドさせます。
工程移動の手順については「工程移動」について（P.30）をご覧ください。

[ネットワーク風] ボタン
ネットワーク風バーチャート（P.15）を表示します。

[キャンセル] ボタン
データを保存せずに終了します。

[完了] ボタン
工程表の作成を終了します。

工程表（バーチャート）左側画面 数量表示



入力

入力するものを換算率・金額・なしから選択します。
なしを選択した場合、換算率と金額は入力できず、
進捗率グラフは表示されません。

— 換算率計 換算率の合計が表示されます。

— 金額計 金額の合計が表示されます。

小数桁

換算率 小数点以下の桁数を 0・1・2 から選択します。

数量 月別出来高数量、数量の小数点以下の桁数を
0~3 から選択します。

[行挿入] ボタン

選択中の行の上に行を挿入します。

[行削除] ボタン

選択中の行を削除します。

[行移動] ボタン

クリックした後移動先の行を選択し、[Enter]
キーを押すと、ボタンをクリックしたときに
選択されていた行が移動されます。

[行複写] ボタン

クリックした後複写先の行を選択し、[Enter]
キーを押すと、ボタンをクリックしたときに
選択されていた行が複写されます。

実行予算

請負金額または、実行予算が表示されます。

工種

工種を 20 文字以内で入力します。

[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

種別

種別を 20 文字以内で入力します。

[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

細別

細別を 20 文字以内で入力します。

[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P.24) または「Navi 辞書」画面 (P.26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

数量

数量を整数 7 桁、小数点以下 3 桁以内
で入力します。

累計数量

月別出来高数量の合計が表示されます。

単位

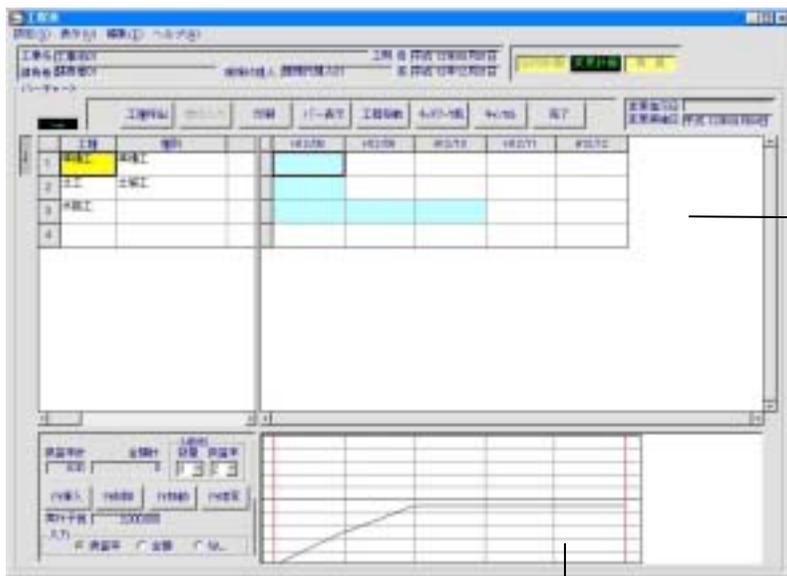
単位を入力します。

「累計数量」から [Enter] キーで
横移動する場合、または [単位入力]
ボタンをクリックした場合には表示さ
れる「単位」画面 (P.28) から選択
するか、キーボードから直接入力
します。

表示内容

横棒グラフの上部に施行箇所を
表示するかどうかを設定します。
施行箇所を表示する場合、チェ
ックマークを付けます。

工程表（バーチャート）右側画面 数量表示



月別数量表示部
各工種ごとに、月別数量を
直接入力します。
バーのある月のセルの色は
水色になります。

進捗率グラフ表示部
進捗率がグラフで表示されます。

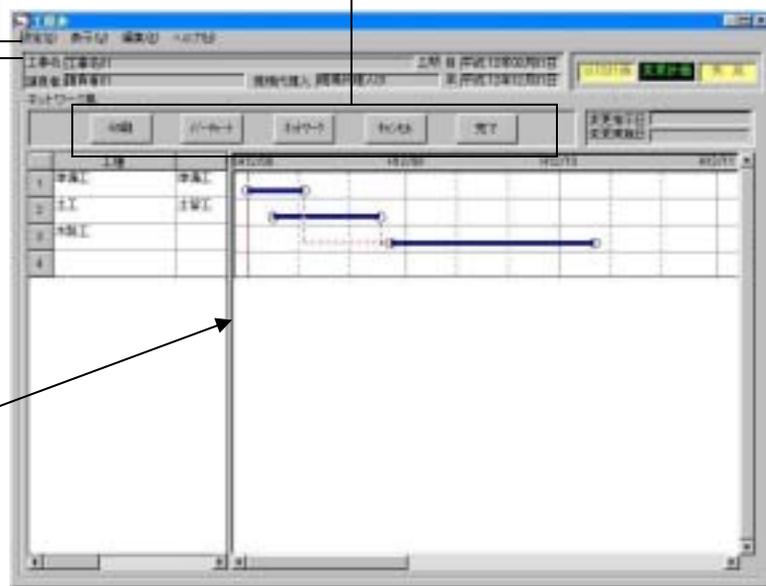
工程表（ネットワーク風バーチャート）全体画面

工事名・工期・請負者・現場代理人

「工事名登録」画面（P.19）で登録されたものが表示されます。

メニューバー

メニューを表示します。



[印刷] ボタン

印刷（P.68）を行います。

[バーチャート] ボタン

バーチャート（P.8）を表示します。

[ネットワーク] ボタン

ネットワーク（P.18）を表示します。

[キャンセル] ボタン

データを保存せずに終了します。

[完了] ボタン

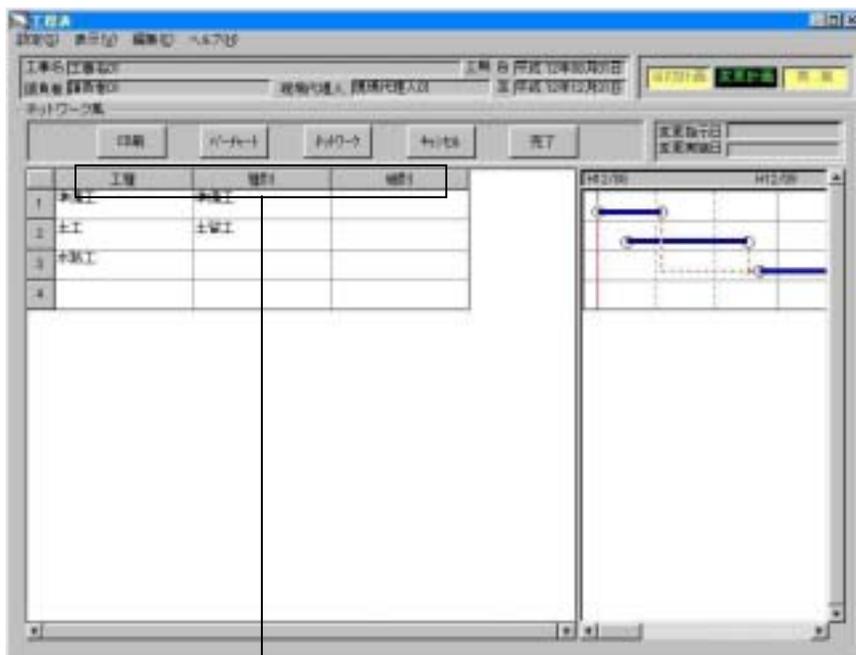
工程表の作成を終了します。

左側画面（P.16）

右側画面（P.17）

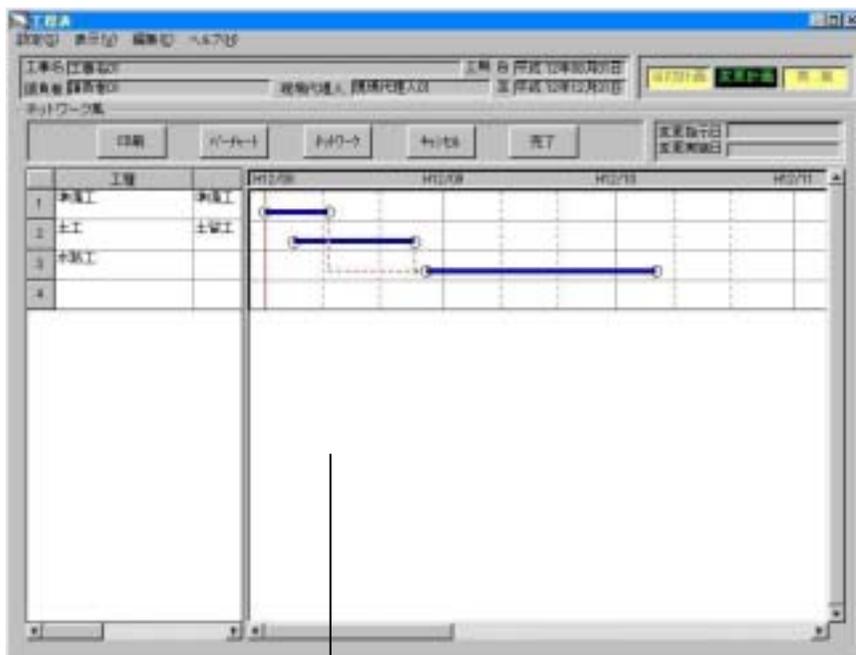
マウスで境界線をドラッグすると画面の割合を変えられます。

工程表（ネットワーク風バーチャート）左側画面



- 工種
バーチャート(P.8)で入力された「工種」が表示されます。
- 種別
バーチャート(P.8)で入力された「種別」が表示されます。
- 細別
バーチャート(P.8)で入力された「細別」が表示されます。

工程表（ネットワーク風バーチャート）右側画面



横棒グラフ表示部

各工種の関連付けを行います。

先行作業の最後の を後続作業のバー内にドラッグ&ドロップすると、赤色の破線矢印が表示されます。

赤色の破線矢印を右クリックすると削除することができます。

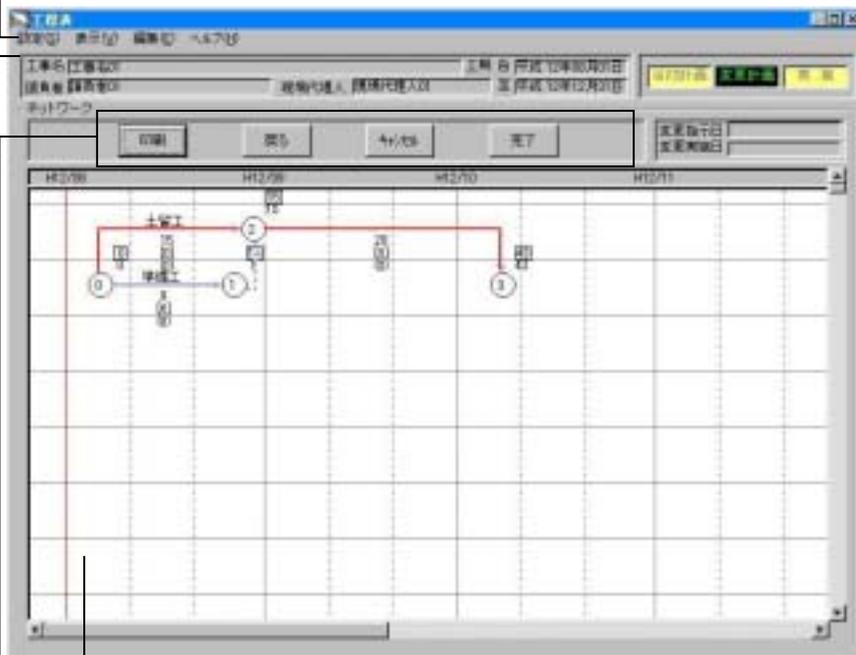
工程表（ネットワーク）画面

工事名・工期・請負者・現場代理人

「工事名登録」画面（P.19）で登録されたものが表示されます。

メニューバー

メニューを表示します。



横棒グラフ表示部

イベント番号をドラッグ&ドロップして上下位置を修正したり、
矢線をダブルクリックして形状を変更します。

[印刷] ボタン

印刷（P.68）を行います。

[戻る] ボタン

ネットワーク風バーチャート（P.15）を表示します。

[キャンセル] ボタン

データを保存せずに終了します。

[完了] ボタン

工程表の作成を終了します。

「工事名登録」画面

「工程表」画面で[設定]メニューの[工事名登録]を選択すると、「工事名登録」画面が表示されます。

工期

「用紙設定」画面 (P.20) で設定された用紙の1ページに収まるように工期を指定します。
 工期の長さは、全ての工期で5年までです。
 カレンダーから選択するか、キーボードから直接入力します。

工期タイトル

工期のタイトルが表示されます。

工事番号

工事番号を 10 文字以内で入力します。

工事名

工事名を 30 文字以内で入力します。

工事場所

工事場所を 25 文字以内で入力します。

発注者

発注者を 15 文字以内で入力します。

請負者

請負者を 15 文字以内で入力します。

現場代理人

現場代理人を 10 文字以内で入力します。

請負金・実行予算

請負金または実行予算を選択します。

請負金額・実行予算額

請負金の場合は請負金額、
 実行予算の場合は実行
 予算額を 10 桁以内で入力
 します。

辞書

あいうえお辞書 土木用語集をもとにしています。

Navi 辞書 新土木積算体系・土木体系をもとにしています。

[キャンセル (終了)] ボタン

工程表の作成を終了します。
 変更時は [終了] ボタンではなく
 [キャンセル] ボタンが表示されます。
 [キャンセル] ボタンをクリックする
 と、設定した内容を取り消し前画面に
 戻ります。

[OK] ボタン

設定した内容で工事名登録を行い、
 「工事名登録」画面を終了します。
 新規登録時は、「用紙設定画面」を
 表示します。

「用紙設定」画面

「工程表」画面で[設定]メニューの[用紙設定]を選択すると、「用紙設定」画面が表示されます。

用紙サイズ
用紙のサイズを指定します。

出力形態
出力形態を指定します。

カラー出力
各データをカラー出力する場合の色を指定します。
クリックして表示されるリストから選択します。

白黒出力
各データを白黒出力する場合の線の種類を指定します。
クリックして表示されるリストから選択します。

余白
上下左右の余白をそれぞれ1mm～100mmの範囲で指定します。
50mm～100mmの設定はB3以上のみ指定できます。

1目盛の設定
(幅) 幅は工期が用紙に収まるように自動計算し表示します。
また、直接入力もできます。
(単位) 1目盛の単位を指定します。

用紙方向
用紙の向きを指定します。

[キャンセル(終了)]ボタン
工程表の作成を終了します。
変更時は[終了]ボタンではなく[キャンセル]ボタンが表示されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定した内容を取り消し前画面に戻ります。

[OK]ボタン
設定した内容で用紙の設定を行い、「用紙設定」画面を終了します。

	カラー出力	白黒出力
計画	[Blue]	[Line]
実績	[Red]	[Line]
変更1	[Green]	[Line]
変更2	[Cyan]	[Line]
変更3	[Orange]	[Line]
変更4	[Light Blue]	[Line]
変更5	[Yellow]	[Line]
変更6	[Light Green]	[Line]
変更7	[Dark Blue]	[Line]
変更8	[Orange]	[Line]
変更9	[Cyan]	[Line]
変更10	[Yellow]	[Line]
休日	[Red]	[Line]
長期休暇	[Yellow]	[Line]
空白印刷	[Yellow]	[Line]

「計画用休日設定」画面

「工程表」画面で[設定]メニューの[計画用休日設定]を選択すると、「計画用休日設定」画面が表示されます。

カレンダー

「工事名登録」画面(P.19)で登録された工期内の休日を指定します。クリックした日は赤色で表示され休日となります。赤色で表示されている日を右クリックすると、黒色で表示され休日の指定が解除されます。

いつから

長期休暇の開始日を工期の範囲内で入力します。
(入力例: H120811、H12/08/11、平成12年08月11日)

いつまで

長期休暇の終了日を工期の範囲内で入力します。
(入力例: H120816、H12/08/16、平成12年08月16日)

休暇名

長期休暇名をリストから選択するか、キーボードから直接入力します。リストに表示される休暇名は、工程表作成システムのインストールフォルダにある「vacation.ini」ファイルに記述されています。必要に応じて編集してください。(P.82)



日曜

日曜日の休日を選択します。

土曜

土曜日の休日を選択します。

祝日

祝日を休日に指定する場合、チェックマークを付けます。祝日は、工程表作成システムのインストールフォルダにある「holiday.ini」ファイルに記述されています。必要に応じて編集してください。

[戻る] ボタン

設定した内容を保存したまま、「用紙設定」画面(p.20)に戻ります。[戻る]ボタンは、新規登録時のみ表示されます。

[キャンセル(終了)] ボタン

工程表の作成を終了します。変更時は、[終了]ボタンではなく[キャンセル]ボタンが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定した内容を取り消し前画面に戻ります。

[OK] ボタン

設定した内容で計画用休日設定を行い、「計画用休日設定」画面を終了します。

「バナナ曲線登録」画面

「工程表」画面で[設定]メニューの[バナナ曲線登録]を選択すると、「バナナ曲線登録」画面が表示されます。

The screenshot shows a window titled "バナナ曲線登録画面" with a close button in the top right corner. The window is divided into two main sections: "上限値" (Upper Limit) on the left and "下限値" (Lower Limit) on the right. Each section contains a vertical list of 21 input fields, numbered 0 to 20. The values for the upper limit are: 0: 0.0, 1: 30, 2: 100, 3: 160, 4: 220, 5: 288, 6: 350, 7: 405, 8: 460, 9: 530, 10: 600, 11: 660, 12: 720, 13: 783, 14: 840, 15: 885, 16: 920, 17: 950, 18: 970, 19: 990, 20: 1000. The values for the lower limit are: 0: 0.0, 1: 1.4, 2: 3.0, 3: 5.0, 4: 8.0, 5: 11.2, 6: 15.0, 7: 19.0, 8: 24.0, 9: 29.0, 10: 34.0, 11: 39.5, 12: 45.0, 13: 51.0, 14: 57.0, 15: 64.3, 16: 72.0, 17: 78.5, 18: 85.0, 19: 92.5, 20: 100.0. At the bottom of the window are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "標準に戻す" (Reset to Standard).

[標準に戻す] ボタン
登録した内容を取り消し
標準の値に戻します

[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し「工程
表」画面

[OK] ボタン
設定した内容を登録し、「工程表」
画面に戻ります。

「項目名変更」画面

「工程表」画面で[設定]メニューの[項目名変更]を選択すると、「項目名変更」画面が表示されます。



全国1

項目名称を変更します。

各項目に直接入力します。

[OK] ボタン

設定した内容を登録し、「工程表」画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容を取り消し「工程表」画面に戻ります。

[規定値] ボタン

項目名を規定値に戻します。

補足

規定値となる項目名は、工程表作成システムのインストールフォルダにある「ItemEdit.ini」ファイルに記述されたものが表示されます。規定値を変更したい場合は「ItemEdit.ini」ファイルを編集してください。

参照

「ItemEdit.ini」ファイルの編集については、「付録」の「ItemEdit.ini」ファイルの編集について (P.86) をご覧ください。



線説明共通

項目名称を変更します。

各項目に直接入力します。

「用語選択」画面

「工程表」画面で[工種呼出]ボタンをクリックすると、「用語選択」画面が表示されます。

また、「工程表」画面で「工種」または「種別」入力時に右クリックし、[工種呼出]ボタンをクリックすると、「用語選択」画面が表示されます。

カテゴリ選択コンボボックス
ダウンコントロールボタンにより、
用語のカテゴリを選択します。



[閉じる]ボタン

用語の選択を取り消して前画面に
戻ります。

[50音]ボタン

用語の先頭文字に関連する用語が
表示されます。

補足

「工事名登録」画面の辞書で[あいうえお辞書]が選択されている場合に「用語選択」画面が表示されます。

「用語一覧」画面

「用語選択」画面 (P.24) で [50 音] ボタンをクリックすると、「用語一覧」画面が表示されます。

ツールバー
ツールボタンを表示します。プルダウンメニューの中から、使用頻度の高いコマンドをアイコン表示しています。メニューからコマンドを選択する手間が省けます。

メニューバー
メニューを表示します。



[登録] ボタン
用語を新規登録します。
クリックして表示される「用語新規登録」画面で、用語を入力し [OK] ボタンをクリックします。

[修正] ボタン
登録されている用語を修正します。
修正する用語をリストから選択し [修正] ボタンをクリックして表示される「用語修正」画面で用語を修正し [OK] ボタンをクリックします。

[削除] ボタン
登録用語の中から選択した用語を削除します。

[OK] ボタン
選択した用語を有効にして「工程表」画面に戻ります。

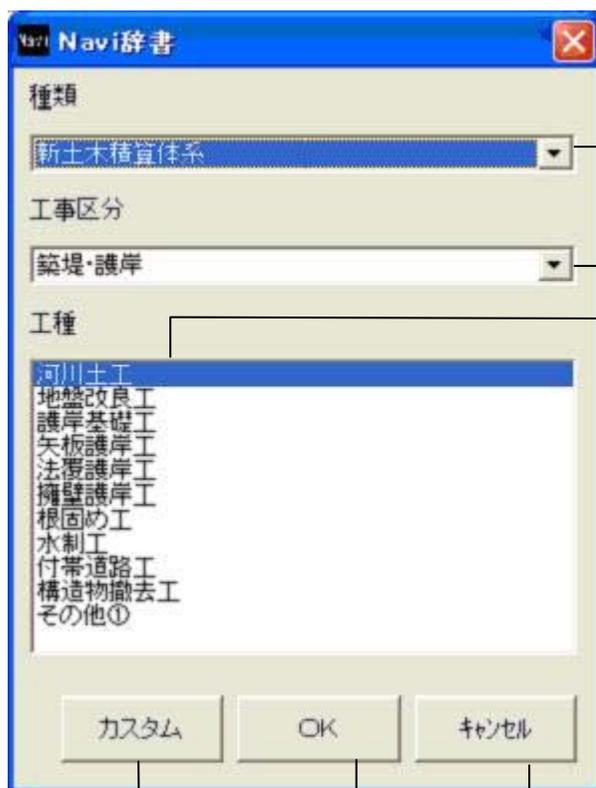
[キャンセル] ボタン
選択した用語を無効にして「用語選択」画面 (P.24) に戻ります。

用語選択ボックス
ボックスに表示された用語の中から、工程表の「工種」または「種別」に入力するものを選択します。

「Navi 辞書」画面

「工程表」画面で[工種呼出]ボタンをクリックすると、「Navi 辞書」画面が表示されます。

また、「工程表」画面で「工種」または「種別」入力時に右クリックし、[工種呼出]ボタンをクリックすると、「Navi 辞書」画面が表示されます。



— カテゴリー選択コンボボックス
ダウンコントロールボタンより、
用語のカテゴリーを選択します。

— 用語選択ボックス（工種）
ボックスに表示された用語の中から、
工程表の「工種」に入力するものを選
択します。

— [キャンセル] ボタン
選択した用語を無効にして「工
程表」画面に戻ります。

— [OK] ボタン
選択した用語を有効にして「工程表」
画面に戻ります。

— [カスタム] ボタン
用語を新規登録します。

補足

「工事名登録」画面の辞書で[Navi 辞書]が選択されている場合に「Navi 辞書」画面が表示されます。

「カスタム辞書」画面

「Navi 辞書」画面 (P.26) で [カスタム] ボタンをクリックすると、「カスタム辞書」画面が表示されます。

The screenshot shows a window titled "カスタム辞書" (Custom Dictionary) with a blue title bar and a close button in the top right corner. The window is divided into several sections:

- 種類 (Type):** A list box containing "自記専用" (Self-record only).
- 種別 (Category):** An empty list box.
- 名称 (Name):** An empty text input field.
- 工種 (Trade):** A list box containing "建築士工" (Architect) and "準備工" (Preparation).
- 細別 (Sub-category):** An empty list box.
- Buttons:** Four buttons at the bottom: "登録" (Register), "編集" (Edit), "削除" (Delete), and "閉じる" (Close).

Callouts provide detailed instructions for each section:

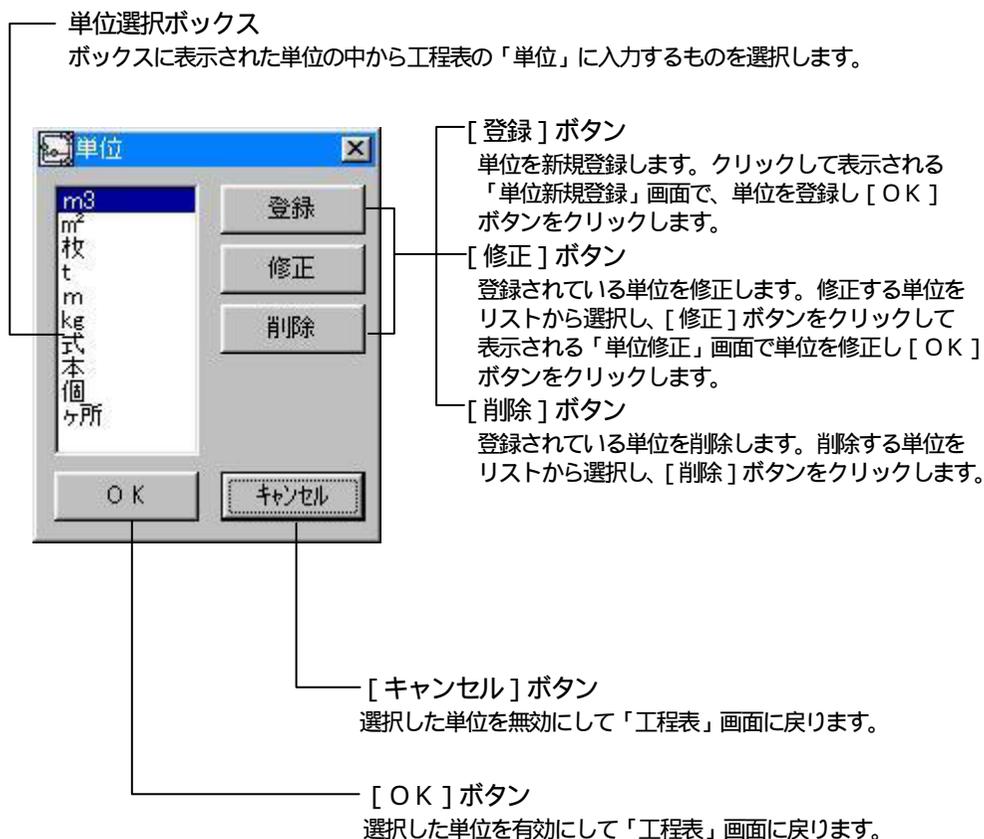
- 種類選択ボックス:** ボックスに表示された用語の中から、Navi 辞書の「種類」を選択します。
- 種別選択ボックス:** ボックスに表示された用語の中から、工程表の「種別」に入力するものを選択します。
- 名称選択ボックス:** ボックスに表示された用語の中から、工程表の「名称」に入力するものを選択します。
- 細別選択ボックス:** ボックスに表示された用語の中から、工程表の「細別」に入力するものを選択します。
- 工種選択ボックス:** ボックスに表示された用語の中から、工程表の「工種」に入力するものを選択します。

Button descriptions:

- [登録] ボタン:** 選択しているボックスの用語を新規登録します。クリックして表示される「カスタム辞書登録処理」画面で、用語を入力し [OK] ボタンをクリックします。
- [編集] ボタン:** 選択されている用語を修正します。修正する用語をリストから選択し [編集] ボタンをクリックして表示される「カスタム辞書修正処理」画面で用語を修正し [OK] ボタンをクリックします。
- [削除] ボタン:** 選択されている用語を削除します。
- [閉じる] ボタン:** 「Navi 辞書」画面に戻ります。

「単位」画面

「工程表」画面で「単位」入力時に [単位入力] ボタンをクリックするか、「累計数量」から [Enter] キーで横移動すると「単位」画面が表示されます。



「各工種の期間指定」画面

「工程表」画面で横棒グラフを入力またはダブルクリックすると、「各工種の期間指定」画面が表示されます。

開始日

「工事名登録」画面 (P.19) で登録された工期内で工程の開始日を指定します。
カレンダーから選択するか、キーボードから直接入力します。

平成12年08月01日 ~ 平成12年08月11日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

累計日数 11日 稼働日数 8日

施工箇所名

OK キャンセル

終了日

「工事名登録」画面 (P.19) で登録された工期内で工程の終了日を指定します。
カレンダーから選択するか、キーボードから直接入力します。

施工箇所名

施工箇所名を 15 文字以内で入力します。

累計日数

指定された期間の累計日数が表示されます。

稼働日数

指定された期間の休日を除いた稼働日数が表示されます。

[キャンセル] ボタン

設定した内容を取り消し、前画面が表示されます。

[OK] ボタン

設定した内容で横棒グラフが表示されます。

工程移動について

「バーチャート工程表」画面で [工程移動] ボタンをクリックすると、「工程の移動」画面が表示されます。
 次の例は、9月20日から10日、後に工程をスライドさせる場合です。

基準日
 工程をスライドさせる開始日を入力します。

移動日数
 工程をスライドさせる期間を入力します。

前に移動
 工程を前にスライドさせます。

後に移動
 工程をスライドさせます。

[キャンセル] ボタン
 設定した内容を取り消し、「バーチャート工程表」画面が表示されます。

[OK] ボタン
 設定した内容で工程がスライドします。

(変更前)

9月20日から10日後へスライドさせます。

(変更後)

9月20日を始点に10日、スライドします。

「バーチャート印刷設定」画面

バーチャート(P.8)表示時に[印刷]ボタンをクリックすると「バーチャート印刷設定」画面が表示されます。

用紙サイズ

用紙のサイズを指定します。



進捗グラフ表示

進捗グラフを出力するかどうかを指定します。

出力する場合は、月計換算率か累計換算率で出力する項目をチェックします。

さらに、変更実施日の換算率(月中時)を出力するかどうかを指定します。

横バー上の表示

横バー上に出来高・換算率、施工箇所名、日付表示のどちらを出力するかを指定します。

月別出来高を出力する場合は、単月か累計かを選択します。

余白

上下左右の余白をそれぞれ 1mm ~ 100mm の範囲で指定します。

50mm ~ 100mm の設定は B3 以上のみ指定できます。

1目盛の設定

(幅) 工期が用紙に収まる様に自動計算します。直接入力もできます。

1目盛とする幅を 1mm ~ 9999mm の範囲で設定します。

(単位) 1目盛の単位を指定します。

用紙方向

用紙の向きを指定します。

印刷範囲

印刷する期間を指定します。

種別細別出力
種別または細別を出力するかどうかを指定します。

休日出力
休日出力を指定します。

出力形態
出力形態を指定します。

カラー出力
各データをカラー出力する場合の色を指定します。クリックして表示されるリストから選択します。

白黒出力
各データを白黒出力する場合の線を指定します。クリックして表示されるリストから選択します。

出力
出力するものにチェックマークを付けます。

変更指示
変更指示日を印刷する時にチェックマークを付けます。

変更実施
変更実施日を印刷する時にチェックマークを付けます。

ガイダンス
用紙サイズ、余白、1目盛の設定、用紙方向から、設定可能な工程数が表示されます。

[Excel 出力] ボタン
Excel 出力指示画面が表示されます。
地域を選択し、[OK] をクリックし工程表を Excel で作表します。

[プリンタ設定] ボタン
プリンタの設定を行います。

[レイアウト表示] ボタン
レイアウト表示を行います。

[OK] ボタン 印刷を行います。

[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し、「バーチャート」(P.8)に戻ります。

「Excel 出力指示」画面

「バーチャート印刷設定」画面 (P.31) で [Excel 出力] ボタンをクリックすると、「Excel 出力指示」画面が表示されます。



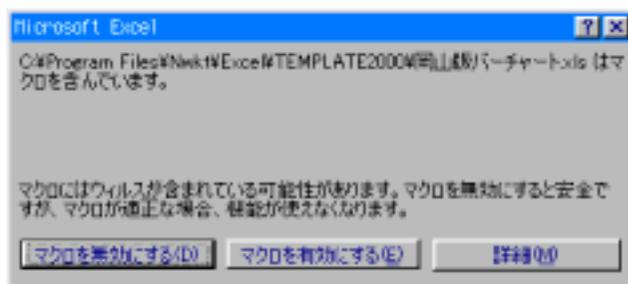
[地域帳票の選択] リストボックス
用意されている地域帳票を表示します。

[キャンセル] ボタン
選択を取り消して「バーチャート印刷設定」画面を表示します。

[OK] ボタン
選択した内容で Excel の工程表を作成します。

重要

[OK] ボタンをクリックすると、Excel が起動し、次のメッセージが表示します。



[マクロを有効にする] ボタンをクリックしてください。
Excel 出力についての詳しい説明は、別冊「地域帳票説明書」
をご覧ください。

「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面

ネットワーク風バーチャート (P.15) 表示時に [印刷] ボタンをクリックすると「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面が表示されます。

用紙サイズ
用紙のサイズを指定します。

進捗グラフ表示
進捗グラフを出力するかどうかを指定します。
出力する場合は、月計換算率か、累計換算率で出力する項目をチェックします。

施行箇所名表示
施工箇所名を出力するかどうかを指定します。

種別細別出力
種別または細別を出力するかどうかを指定します。

休日出力
休日出力を指定します。

出力形態
出力形態を指定します。

カラー出力
各データをカラー出力する場合の色を指定します。
クリックして表示されるリストから選択します。

白黒出力
各データを白黒出力する場合の線を指定します。
クリックして表示されるリストから選択します。

出力
出力するものにチェックマークを付けます。

変更指示
変更指示日を印刷する時にチェックマークを付けます。

変更実施
変更実施日を印刷する時にチェックマークを付けます。

幅
関連線の幅を選びます。

プリンタ設定 ボタン
プリンタの設定を行います。

レイアウト表示 ボタン
レイアウト表示を行います。

OK ボタン
印刷を行います。

キャンセル ボタン
設定した内容を取り消し、「バーチャート」(P.8)に戻ります。

ガイダンス
用紙サイズ、余白、1目盛の設定、用紙方向から、設定可能な工程数が表示されます。

余白
上下左右の余白をそれぞれ1mm~100mmの範囲で指定します。
50mm~100mmの設定はB3以上のみ指定できます。

1目盛の設定
(幅) 工期が用紙に納まるように自動計算します。また、直接入力できます。
1目盛とする幅を1mm~9999mmの範囲で設定します。
(単位) 1目盛の単位を指定します。

用紙方向
用紙の向きを指定します。

「ネットワーク印刷設定」画面

ネットワーク (P.18) 表示時に [印刷] ボタンをクリックすると「ネットワーク印刷設定」画面が表示されます。

用紙サイズ
用紙のサイズを指定します。

余白
上下左右の余白をそれぞれ1mm～100mmの範囲で指定します。
50mm～100mmの設定はB3以上のみ指定できます。

用紙方向
用紙の向きを指定します。

出力形態
出力形態を指定します。

矢印上出力
工種、種別、細別、施工箇所名を出力するかしないかを2箇所まで選択できます。

暦を出力する
暦を表示するかどうか、変更日を出力するかどうかの指定をします。
表示する場合、休日出力するか、しないかの選択をします。
ただし、土日などの休日は1目盛の単位が1日のときのみ出力します。

タイトル
帳表に出力するタイトルを10文字で入力します。

カラー出力
各データをカラー出力する場合の色を指定します。
クリックして表示されるリストから選択します。

出力選択
クリティカルパス
すべての経路の中で最も時間が長い経路 (クリティカルパス) を出力する場合、チェックマークを付けます。
トータルフロート
全余裕時間 (トータルフロート) を出力する場合、チェックマークを付けます。
フリーフロート
自由余裕時間 (フリーフロート) を出力する場合、チェックマークを付けます。
最早開始時刻
最も早く開始できる時刻 (最早開始時刻) を出力する場合、チェックマークを付けます。
最遅完了時刻
遅くとも完了していなければならない時刻 (最遅完了時刻) を出力する場合、チェックマークを付けます。

[プリンタ設定] ボタン
プリンタの設定を行います。

[レイアウト表示] ボタン
レイアウト表示を行います。

[OK] ボタン
印刷を行います。

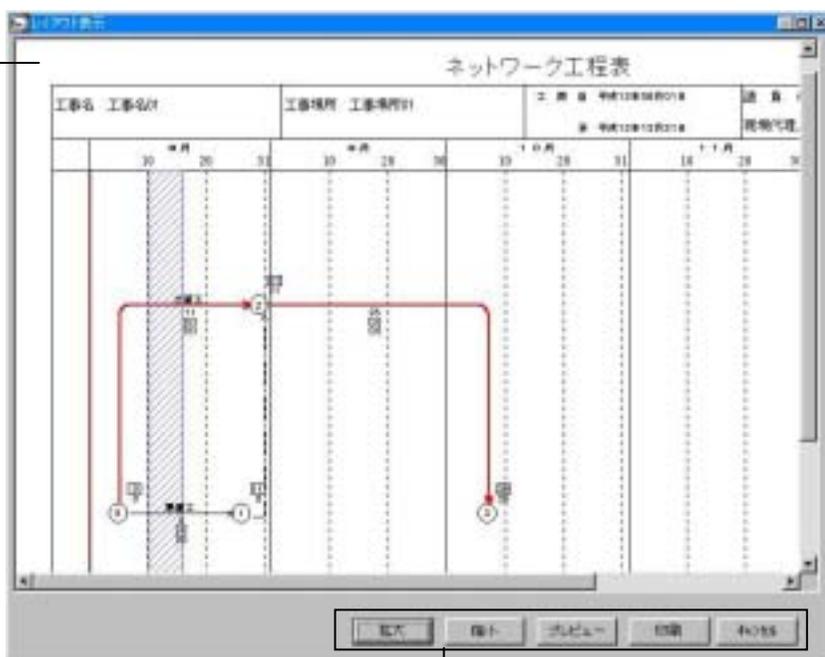
[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し、「ネットワーク」(P.18)に戻ります。

「レイアウト表示」画面

「バーチャート印刷設定」画面 (P.31) 「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面 (P.34) 「ネットワーク印刷設定」画面 (P.35) で [レイアウト表示] ボタンをクリックすると、「レイアウト表示」画面が表示されます。

レイアウト表示部

レイアウトが表示されます。



[拡大] ボタン

レイアウトを拡大して表示します。
10% ~ 1000%の範囲で10%ずつ拡大されます。

[縮小] ボタン

レイアウトを縮小して表示します。
10% ~ 1000%の範囲で10%ずつ縮小されます。

[プレビュー] ボタン

「印刷プレビュー」画面 (P.33) を表示します。

[印刷] ボタン

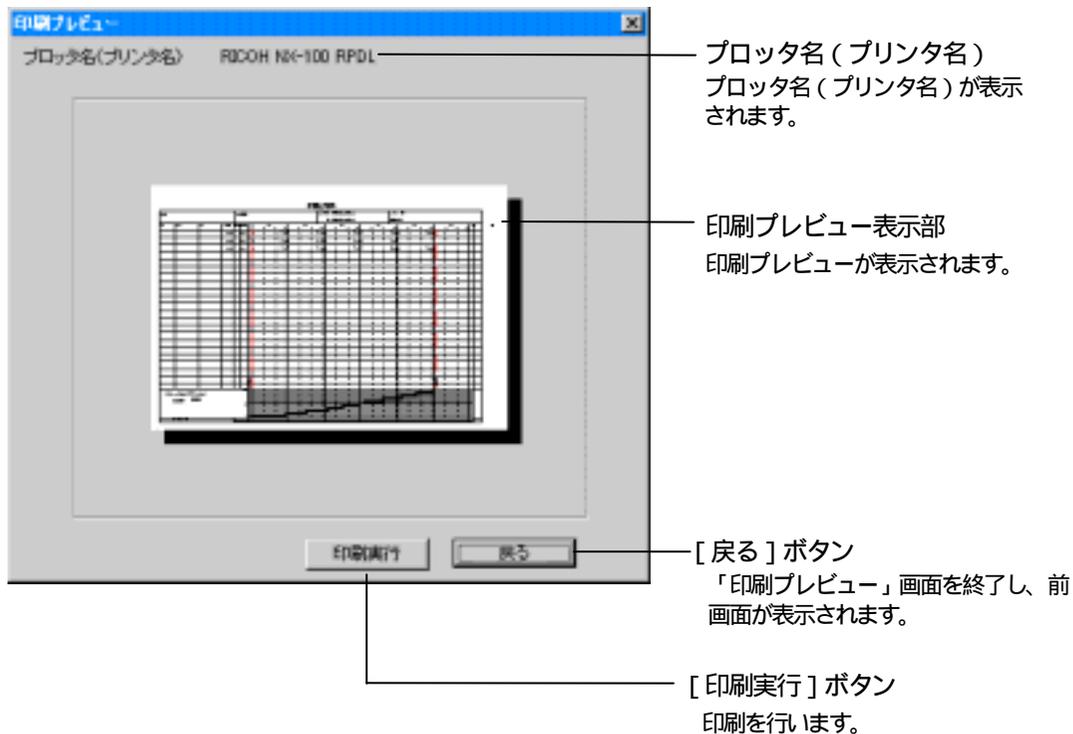
印刷を行います。

[キャンセル] ボタン

設定した内容を取り消して前画面が表示されます。

「印刷プレビュー」画面

「レイアウト表示」画面 (P.36) で [プレビュー] ボタンをクリックすると、「印刷プレビュー」画面が表示されます。



「変更回数指定」画面

バーチャート(P.8)表示時に[変更計画]ボタンをクリックすると、「変更回数指定」画面が表示されます。

変更回数
変更の回数を指定します。



コピー元
まだ登録されていない変更回数の場合、元にする変更回数をリストから選択します。
すでに登録されている変更回数の場合、コピー元を指定することはできません。

変更指示日
変更指示日の入力をお願いします。
(入力例：H120811、H12/08/11、平成12年8月11日)

変更実施日
変更実施日の入力をお願いします。
(入力例：H120811、H12/08/11、平成12年8月11日)

[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し、前画面が表示されます。

[OK] ボタン
変更を行います。
まだ登録されていない変更回数の場合は「工事名登録」画面(P.19)が表示され、すでに登録されている変更回数の場合は、変更データ入力のバーチャートが表示されます。

「空白期間入力」画面

変更計画データ入力時に、空白期間挿入の確認画面で [はい] ボタンをクリックすると、「空白期間入力」画面が表示されます。

空白期間
「工事名登録」画面 (P.19) で登録された工期の範囲内で、空白期間を指定します。
カレンダーから選択するか、キーボードから直接入力します。
空白期間の入力により工期からはみ出したデータは失われます。

月毎数量の移動
 する ヶ月移動
 しない

[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し、前画面が表示されます。

[OK] ボタン
指定した空白期間の開始日以降のデータを、空白期間の日数分ずらします。

「空白期間編集」画面

変更計画で、[編集]メニューの空白期間編集をクリックすると、「空白期間編集」画面が表示されます。



空白期間

「空白期間入力」画面 (P.39) で登録された空白期間を表示します。カレンダーから選択するか、キーボードから直接入力します。

空白期間名

[キャンセル] ボタン

設定した内容を取り消し、前面画面が表示されます。

[OK] ボタン

設定した内容で、前面画面が表示されます。

[削除] ボタン

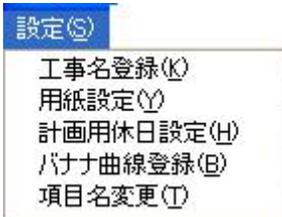
指定した空白期間を削除し、前面画面が表示されます。

補足

入力中の変更計画に対しての空白期間の編集となります。

「工程表」画面のメニュー

[設定] メニュー



[工事名登録]
工事名の登録を行います。

[用紙設定]
用紙の設定を行います。

[計画用休日設定]
計画用休日設定を行います。

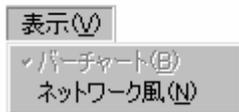
[バナナ曲線登録]
バナナ曲線の登録を行います。

[項目名変更]
各項目名の変更を行います。

参照

設定を行う画面については、「画面について」の「工事名登録」画面 (P.19)、「用紙設定」画面 (P.20)、「計画用休日設定」画面 (P.21) をそれぞれご覧ください。

[表示] メニュー



[バーチャート]
バーチャートを表示します。

[ネットワーク風]
ネットワーク風バーチャートを表示します。

補足

最初に表示される工程表はバーチャートです。

補足

バーチャート表示時またはネットワーク風バーチャート表示時に、[ネットワーク風] ボタンまたは [バーチャート] ボタンをクリックして表示を切り替えることもできます。

補足

ネットワーク表示にするには、ネットワーク風バーチャート表示時に [ネットワーク] ボタンをクリックします。

[編集] メニュー

編集 (E)

データ削除 (D)
空白期間編集 (F)

[データ削除]

編集中の変更計画データを削除します。

[空白期間編集]

空白期間の設定を編集します。

重要

「実施データ」を入力した後では、「変更計画データ」の削除は行えません。
削除する場合は、必ず「実施データ」を入力する前に行ってください。

[ヘルプ] メニュー

ヘルプ (H)

ヘルプ (H)

バージョン情報 (V)

[ヘルプ]

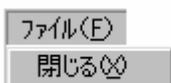
ヘルプを表示します。

[バージョン情報]

バージョン情報を表示します。

「用語一覧」画面のメニュー

[ファイル]メニュー



[閉じる]

「用語一覧」画面を閉じ、「用語選択」画面 (P. 24) に戻ります。

[編集]メニュー



[登録]

土木辞書へ用語を登録します。

[修正]

土木辞書の用語を修正します。

[削除]

土木辞書の用語を削除します。

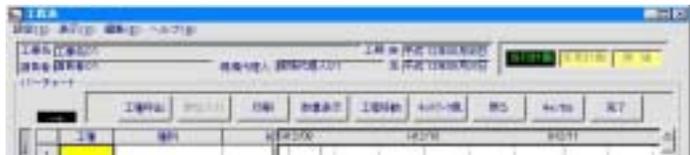
データの入力

当初計画

当初計画データを入力します。

バーチャート

バーチャートで各項目を入力します。



■ 工種、種別

工種、種別をそれぞれ入力します。

[shift] + Enter で改行します。

[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P. 24) または「Navi 辞書」画面 (P. 26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

■ 細別

細別を入力します。

[shift] + Enter で改行します。

[工種呼出] ボタンで表示される「用語選択」画面 (P. 24) または「Navi 辞書」画面 (P. 26) から選択するか、キーボードから直接入力します。

■ 数量

設計数量を整数 7 桁、小数点以下 3 桁以内で入力します。

■ 累計数量

月別出来高数量の合計が表示されます。

■ 単位

数量の単位を入力します。

「累計数量」から [Enter] キーで横移動する場合、または [単位入力] ボタンをクリックした場合に表示される「単位」画面 (P. 28) から選択するか、キーボードから直接入力します。

■換算率

「入力」で換算率が選択されている場合は、全工種の合計が100になるように、各工種ごとの換算率(各工種ごとの金額÷全体金額×100)を入力します。

「入力」で金額が選択されている場合は、計算結果が自動で表示されます。

補足

[shift]+ Enter キーで2行まで入力可能です。

■金額

「入力」で金額が選択されている場合は、全工種の合計が請負金額(または実行予算)と等しくなるように、各工種ごとの金額を入力します。

「入力」で換算率が選択されている場合は、表示されません。

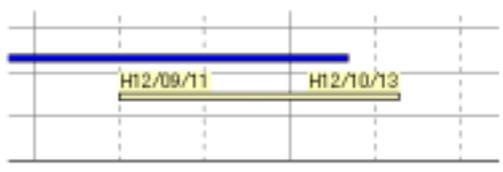
補足

ネットワーク表示すると、矢線上に「種別」と「施行個所名」が表示されます。

補足

単位が式のときは、月別出来高数量は出力しません。

工種ごとにドラッグ&ドロップして横棒グラフを入力します。



「各工種の期間指定」画面が表示されます。

各工種の期間指定

期 間

平成12年09月11日 ~ 平成12年10月13日

平成12年09月

日	月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	31	1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
1	2	3	4	5	6	7	

平成12年10月

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	

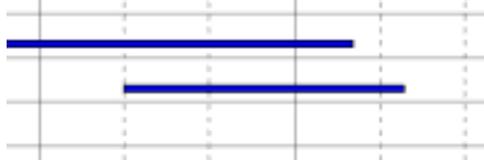
累計日数 日 移動日数 日

施工個所名

OK キャンセル

期間を設定して施行個所名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

バーチャートに横棒グラフが表示されます。



[数量表示]のボタンをクリックします。

月別の出来高数量を入力します。

各工程ごとの月別出来高予想数量を入力します。

工程	種別	H25/06	H25/07	H25/08	H25/09	H25/10	H25/11
1	配管工						
2	土工						
3	土留工						
4							

重要

同一の工程行で工程を分割する場合は、1 日以上間を空けて入力してください。

補足

入力された横棒を削除する場合は、横棒を右クリックします。
各月の月別出来高数量の合計が[数量]と等しくなるように入力します。
横バーのかかっている月のセルの色は水色になっています。

バーチャートで出力する場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

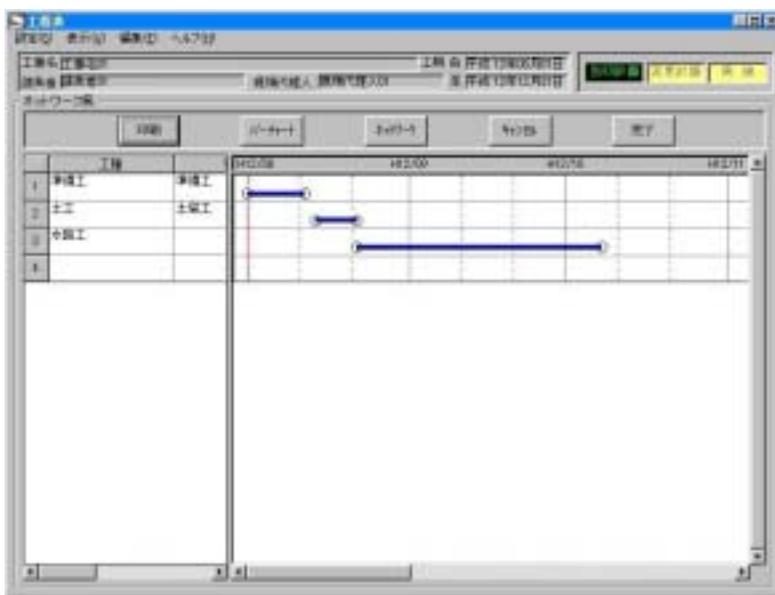
参照

印刷の手順については、「印刷」(P. 68)をご覧ください。

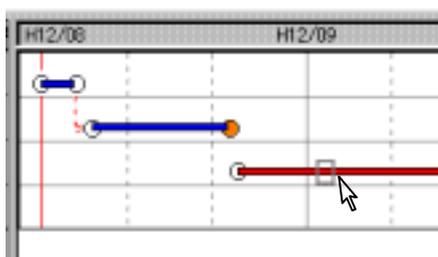
ネットワーク風バーチャート

[ネットワーク風] ボタンをクリックします。

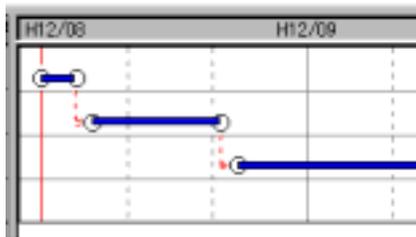
ネットワーク風バーチャートが表示されます。



先行作業の最後の を後続作業のバー内にドラッグ&ドロップして
関連付けを行います。



赤色の破線矢印が表示されます。



補足

関連付けを削除する場合は、赤色の破線矢印を右クリックします。

ネットワーク風バーチャートで出力する場合は、[印刷]ボタンをクリックします。

参照

印刷の手順については、「印刷」(P. 68)をご覧ください。

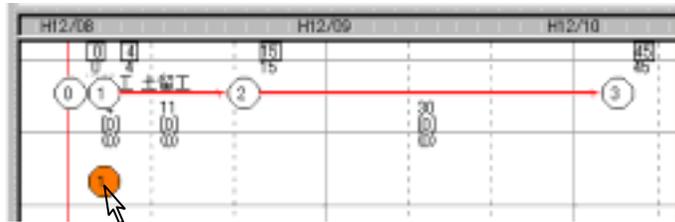
ネットワーク

[ネットワーク]ボタンをクリックします。

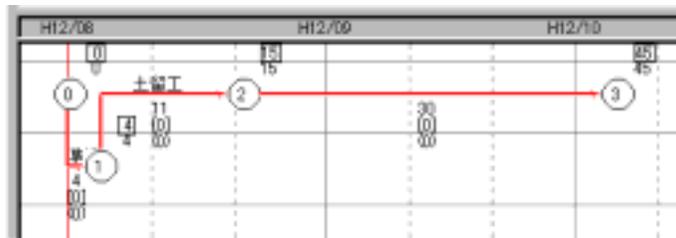
ネットワークが表示されます。



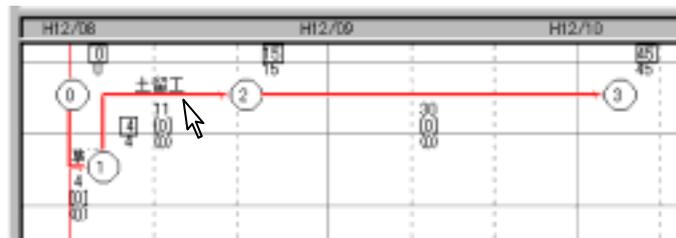
イベント番号や矢線が重なっているなど見づらい場合は、イベント番号の をドラッグ&ドロップして上下位置を修正します。



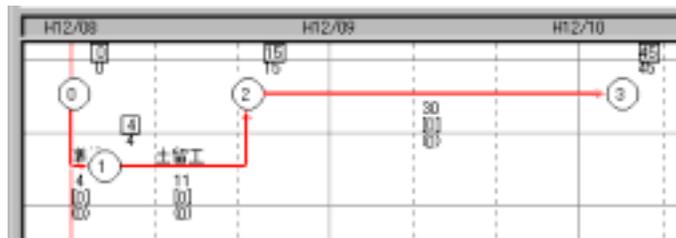
イベント部の上下位置が修正されます。



矢線の形状を変更する場合は、矢線をダブルクリックします。



矢線の形状が変更されます。



2つの折点を通る矢線にする場合は、矢印をクリックします。



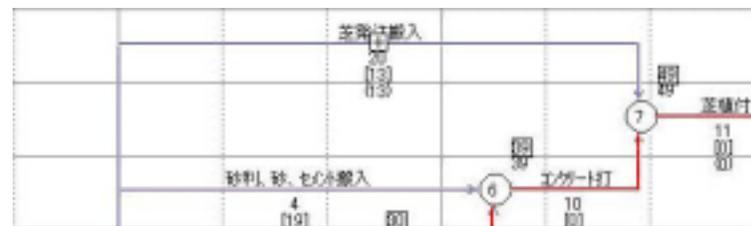
⊕ マークが表示されます。



⊕ マークをドラック&ドロップして上下位置を修正します。



2つの折点を通る矢線に形状が変更されます。



参照

印刷の手順については、「印刷」(P.68)をご覧ください。

参照

開始イベント番号を変更する場合は工程表作成システムのインストールフォルダにある「Event.ini」ファイルを編集します。「Event.ini」ファイルについては、「付録」の「「Event.ini」ファイルの編集について」(p.84)をご覧ください。

変更計画

変更計画データを入力します。

バーチャート

バーチャートで [変更計画] ボタンをクリックします。

「変更回数指定」画面が表示されます。

入力済の最終の変更計画が
選択された状態で表示されます。

変更回数とコピー元を指定し、変更指示日と変更実施日を入力します。

[OK] ボタンをクリックします。

補足

変更指示日は、未入力でもかまいません。

重要

変更実施日が月末以外のときは、実施のバーチャート画面の月別出来高数量の入力枠に、1～変更実施日の列が追加されます。

「工事名登録」画面が表示されます。



補足

すでに登録済みの変更計画回数を指定した場合、手順 ~ は省略され指定した変更回数のバーチャートが表示されます。

工期および実行予算（請負金額）等に変更があれば再設定を行います。

[OK] ボタンをクリックします。

空白期間挿入の確認画面が表示されます。



補足

空白期間は、立ち退きや遺跡出現等のため全工程に対して一律の期間施工中断になるような場合に設定します。

空白期間を設定する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

「空白期間入力」画面が表示されます。



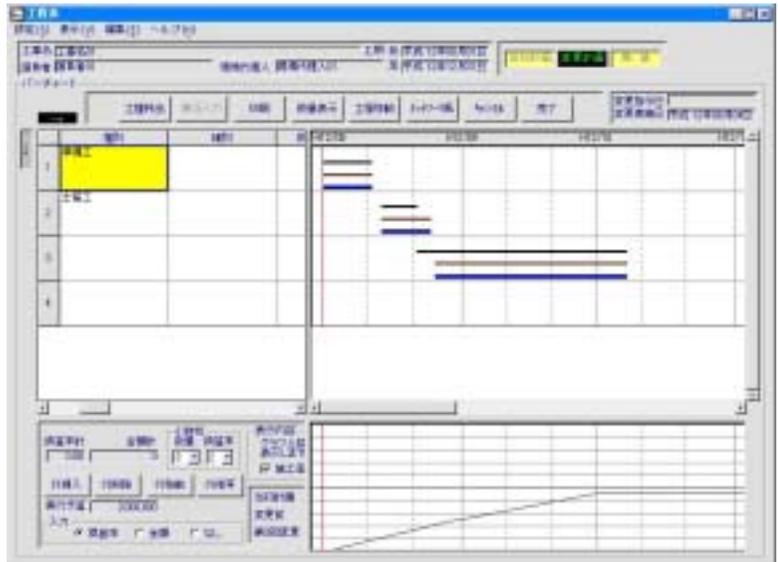
補足 空白期間を入力しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。この場合、次の手順は省略されます。

空白期間の入力を行い、[OK]ボタンをクリックします。

補足 空白期間開始日の月から月単位で出来高予定数量を移動させる場合、「月毎数量の移動」で「する」にチェックマークをつけて移動月数を入力します。

補足 空白期間名を変更する場合、「空白期間名」に入力します。

変更計画データ編集のバーチャートが表示されます。

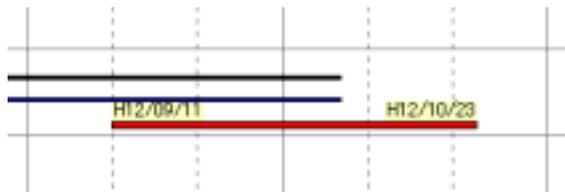


- 補足** 横棒グラフは3段で表示されます。
 (1 段目：当初計画、2 段目：コピー元で指定した回数の変更計画、3 段目：今回編集分の変更計画)
 ただし、変更1を新規で作成、及び、コピー元を当初としたときのみ、2段で表示されます。
 (1 段目：当初計画、2 段目：今回編集分の変更計画)

必要に応じて各項目の編集を行います。

- 参照** 各項目の編集については、「データの入力」の「当初計画」(P.44)をご覧ください。

変更データの横棒グラフをダブルクリックするか、マウスカースルを横棒の端に近づけて ↔ のときにドラッグ&ドロップします。

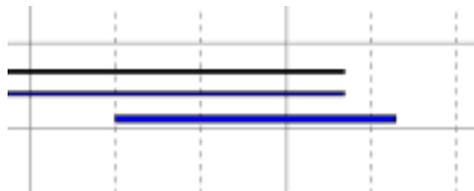


「各工種の期間指定」画面が表示されます。



変更計画の期間を設定して施行箇所名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

変更計画の横棒グラフが表示されます。



[数量表示]のボタンをクリックします。

月別の出来高数量を入力します。

各工程ごとの月別出来高予想数量を入力します。

工程	種類	数量	H12/08	H12/09	H12/10
1	新築工				
2	土工				
3	小築工				
4					

重要

同一の工種行で工程を分割する場合は、1日以上間を空けて入力してください。

補足

入力された横棒を削除する場合は、横棒を右クリックします。
 各月の月別出来高数量の合計が[数量]と等しくなるように入力します。
 横バーのかかっている月のセルの色は水色になっています。

バーチャートで出力する場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

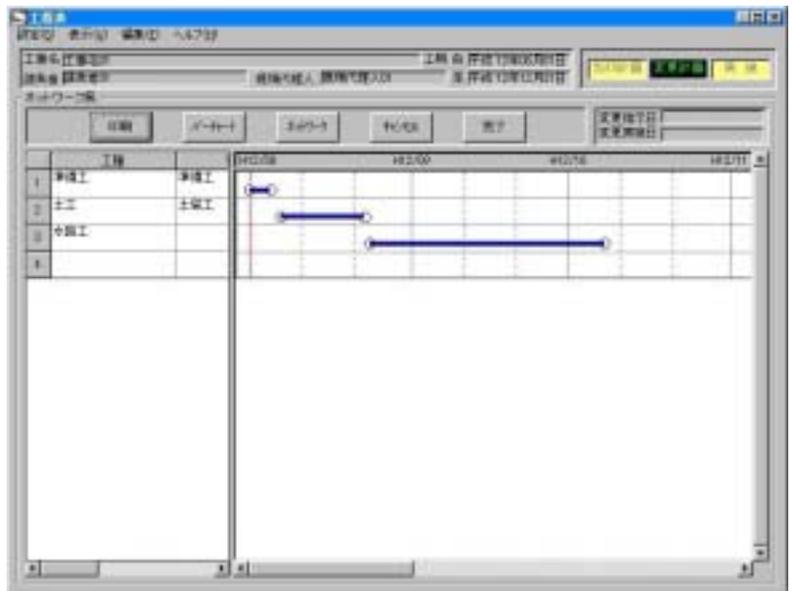
参照

印刷の手順については、「印刷」(P.68)をご覧ください。

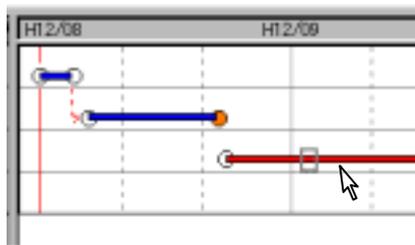
ネットワーク風バーチャート

[ネットワーク風] ボタンをクリックします。

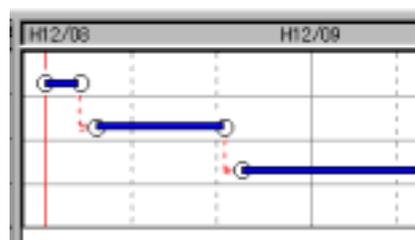
ネットワーク風バーチャートが表示されます。



必要に応じて関連付けを行います。



赤色の破線矢印が表示されます。



補足 関連付けを削除する場合は、赤色の破線矢印を右クリックします。

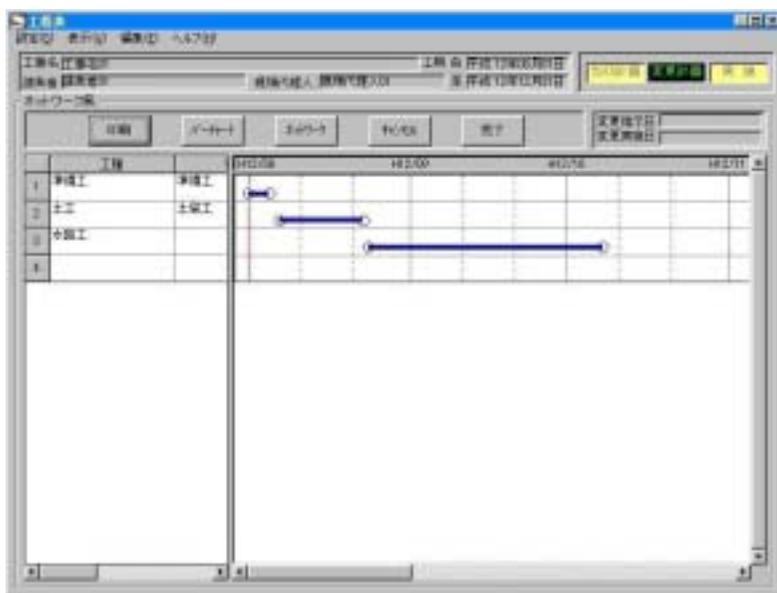
ネットワーク風バーチャートで出力する場合は、[印刷]ボタンをクリックします。

参照 印刷の手順については、「印刷」(P.68)をご覧ください。

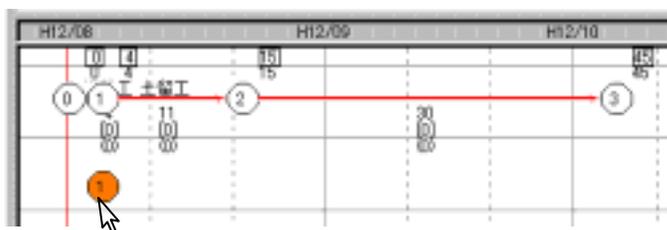
ネットワーク

[ネットワーク] ボタンをクリックします。

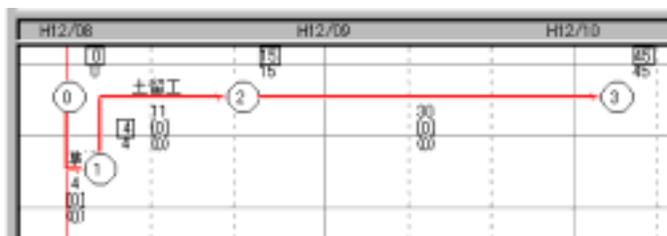
ネットワークが表示されます。



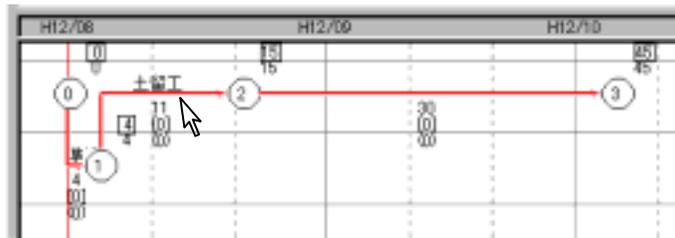
イベント番号や矢線が重なっているなど見づらい場合は、イベント番号の をドラッグ&ドロップして上下位置を修正します。



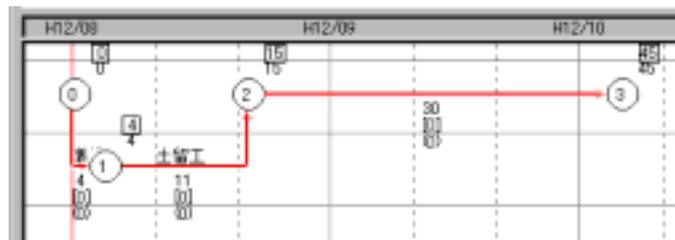
イベント部の上下位置が修正されます。



矢線の形状を変更する場合は、矢線をダブルクリックします。



矢線の形状が変更されます。



2つの折点を通る矢線にする場合は、矢印をクリックします。



⊕ マークが表示されます。



⊕ マークをドラック&ドロップして上下位置を修正します。



2つの折点を通る矢線に形状が変更されます。



ネットワークで出力する場合は、[印刷] ボタンをクリックします。



印刷の手順については、「印刷」(P.68)をご覧ください。



開始イベント番号を変更する場合は工程表作成システムのインストールフォルダにある「Event.ini」ファイルを編集します。「Event.ini」ファイルについては、「付録」の「「Event.ini」ファイルの編集について」(P.84)をご覧ください。

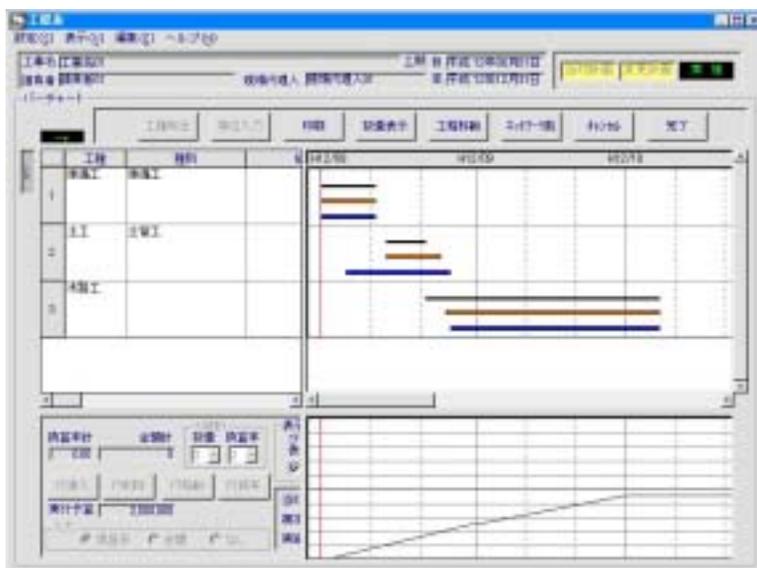
実施

実施データを入力します。

バーチャート

バーチャートで [実施] ボタンをクリックします。

実施データ入力のバーチャートが表示されます。



補足

横棒グラフは2段で表示されます。

(1 段目：当初計画、2 段目：登録済みの最終変更計画)

プログラムの構造上、当初計画の情報しかない場合でも横棒グラフは2段で表示されます。

実施が発生した工程にドラック&ドロップして横棒グラフを入力します。

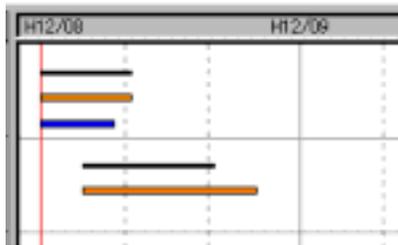


「各工種の期間指定」画面が表示されます。



実施の期間を設定して施行箇所名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

実施の横棒グラフ (3 段目) が表示されます。



重要

同一の工種行で工程を分割する場合は、1 日以上間を空けて入力してください。

[数量表示]のボタンをクリックします。

実施が発生した月の出来高数量を入力します。

工種	種別	数量	数量表示	単位	1~08/08	1~08/09
1	基礎工	58,000		個	58,000	
2	土工	1,000,000		t		
3	舗装工			t		

補足

横バーのかかっている月のセルの色は水色になっています。

重要

変更実施日が月末ではなく月中の場合は、数量の入力セルが 1～変更実施日、1～末日 に分割されます。各セルに数量を入力しますが、必ず 1日～の累計数量を入力 します。

[例] 変更実施日を平成 14 年 10 月 20 日とすると、入力画面は 1～10/20 と 1～10/31 となります。各セルに出来高数量（1日からの累計）を入力します。

	工種	種別	H16/09	1～10/20	1～10/31	H16/11
1	準備工	準備工	0.800	0.200	0.200	
2	道路土工	土砂搬出		30.000	70.000	

重要

変更実施日を月末から月中に変更した場合は数量の入力を見直す必要があります。

実施日の変更により、数量の入力セルが 1～変更実施日、1～末日に分割され、既に入力していた実施数量は 1～末日のセルにコピーされ、1～変更実施日のセルは空白となります。

[例] 変更実施日を平成 14 年 10 月 31 日から 10 月 20 日に変更するとセルが 1～10/20、1～10/31 に分割され、入力していた数量は 1～10/31 のセルにコピーされて 1～10/20 のセルは空白となります。

	工種	種別	H14/09	H14/10	H14/11
1	準備工	準備工	0.800	0.200	
2	道路土工	土砂搬出		70.000	

	工種	種別	H14/09	1～10/20	1～10/31	H14/11
1	準備工	準備工	0.800		0.200	
2	道路土工	土砂搬出			70.000	

必ず、1～10/20 に変更実施日までの数量を入力し、1～10/31 には 1日からの累計数量を入力します。

	工種	種別	H14/09	1～10/20	1～10/31	H14/11
1	準備工	準備工	0.800	0.200	0.200	
2	道路土工	土砂搬出		30.000	70.000	

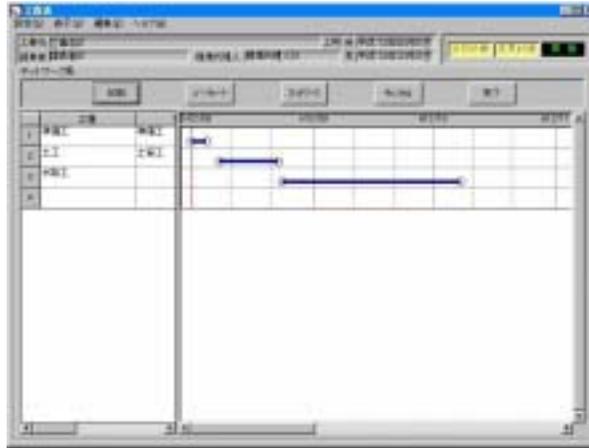
バーチャートで出力する場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

参照

印刷の手順については、「印刷」(P.68) をご覧ください。

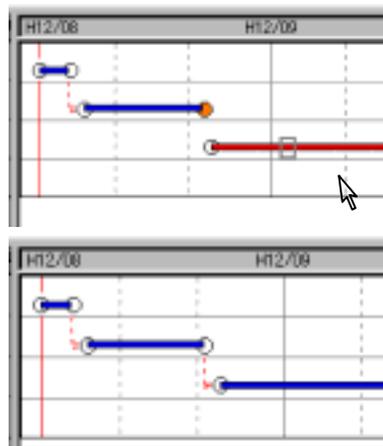
ネットワーク風バーチャート

[ネットワーク風] ボタンをクリックします。
ネットワーク風バーチャートが表示されます。



補足 横棒グラフは、実施が発生したもののみ表示されます。

先行作業の最後の を後続作業のバー内にドラッグ&ドロップして
関連付けを行います。



赤色の破線矢印が
表示されます。

補足 関連付けを削除する場合は、赤色の破線矢印を右クリック
します。

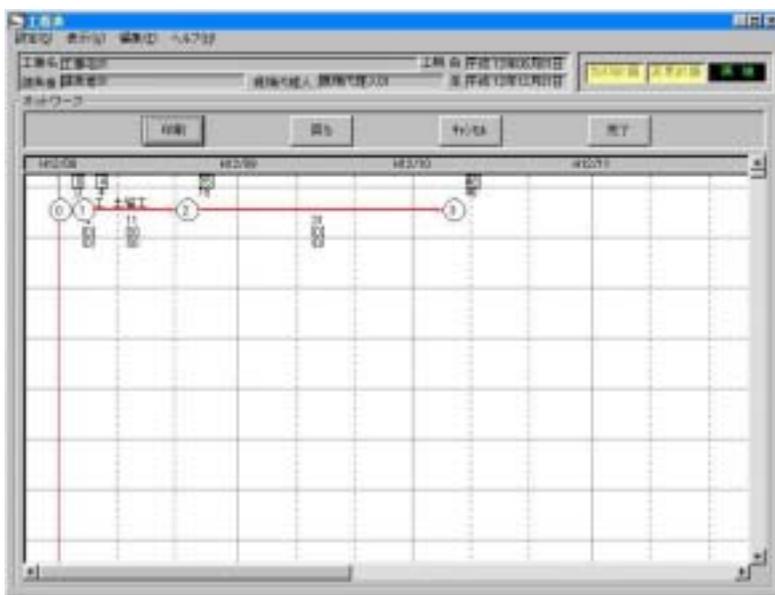
ネットワーク風バーチャートで出力する場合は、[印刷] ボタンをク
リックします。

参照 印刷の手順については、「印刷」(P.68) をご覧ください。

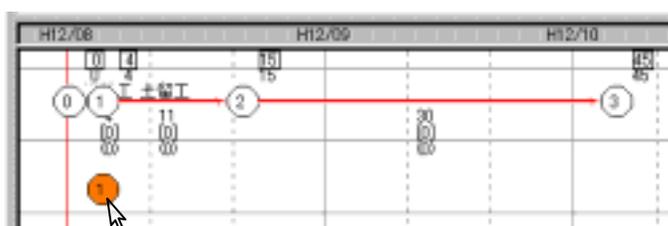
ネットワーク

[ネットワーク] ボタンをクリックします。

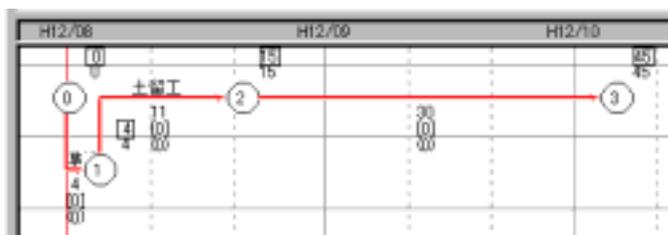
ネットワークが表示されます。



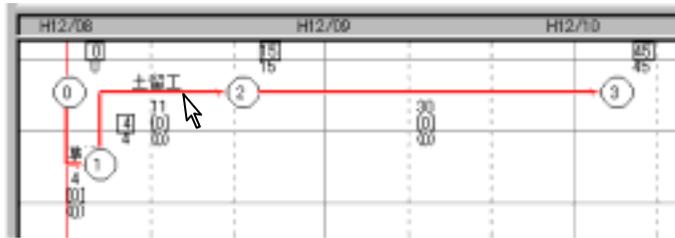
イベント番号や矢線が重なっているなど見づらい場合は、イベント番号の をドラッグ&ドロップして上下位置を修正します。



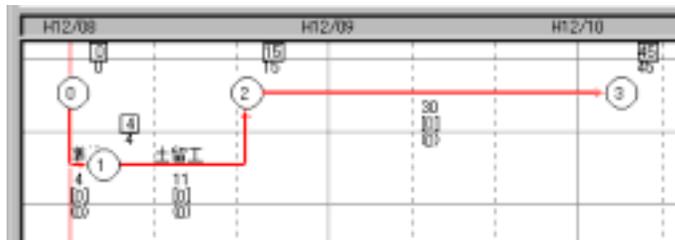
イベント部の上下位置が修正されます。



矢線の形状を変更する場合は、矢線をダブルクリックします。



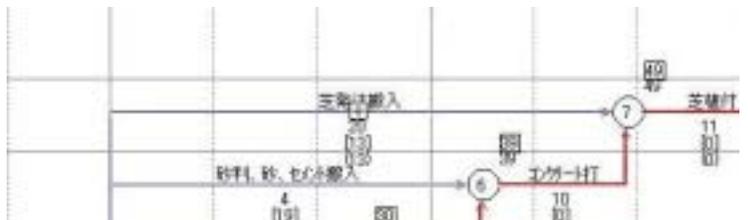
矢線の形状が変更されます。



2つの折点を通る矢線にする場合は、矢印をクリックします。



⊕ マークが表示されます。



⊕ マークをドラック&ドロップして上下位置を修正します。



2つの折点を通る矢線に形状が変更されます。



印刷の手順については、「印刷」(P.68)をご覧ください。



開始イベント番号を変更する場合は工程表作成システムのインストールフォルダにある「Event.ini」ファイルを編集します。「Event.ini」ファイルについては、「付録」の「「Event.ini」ファイルの編集について」(P.84)をご覧ください。

印刷

工程表を印刷します。

[印刷] ボタンをクリックします。

印刷設定の画面が表示されます。

補足

用紙サイズに収まらないときでも印刷範囲のデータのみ印刷できます。このとき、印刷外のデータは残っています。

「工種は～種類設定されていますが、現在の設定では～行しか印刷できません。～以降は無視されます」メッセージが表示されます。

補足

[変更指示] のチェックボックスにチェックすると、変更指示日が工程表に印刷されます。

[変更実施] のチェックボックスにチェックすると、変更実施日が工程表に印刷されます。

補足

バーチャート工程表、ネットワーク風バーチャート工程表に進捗グラフを表示しない場合、出力している変更計画の説明を備考欄へ出力します。

参照

印刷の設定画面は工程表によって異なります。

印刷の設定画面については、「画面について」の「「バーチャート印刷設定」画面」(P.31)、「「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面」(P.34)、「「ネットワーク印刷設定」画面」(P.35)をご覧ください。

重要

「バーチャート印刷設定」画面で設定された「用紙サイズ」、「余白」、「1目盛の設定」、「用紙方向」、「出力形態」、「カラー出力」、「白黒出力」は、「用紙設定」画面(P.20)と「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面(P.34)にも反映されます。

「ネットワーク風バーチャート印刷設定」画面で設定された「用紙サイズ」、「余白」、「1目盛の設定」、「用紙方向」、「出力形態」、「カラー出力」、「白黒出力」は、「用紙設定」画面(P.20)と「バーチャート印刷設定」画面(P.31)にも反映されます。

各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

「印刷」画面が表示されます。



各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

工程表が印刷されます。

重要

工程表で設定されている用紙サイズと、プリンタに設定されている用紙サイズが異なる場合は、プリンタに設定されている用紙サイズで印刷されます。

印刷する前に印刷プレビューでご確認ください。

全国2（バナナチャート版）

全国2の起動

工程表を新規作成する

土木Bookの親インデックス《NW工程表》をクリックします。

《NW工程表》の子インデックス《全国2》をクリックし、[入力] ボタンをクリックします。

「工事名登録」画面が表示されます。

工程表（バーチャート）左側画面 バー表示



配置人員

全国2のみ。

数値入力で、整数2桁で入力します。マイナス入力はできません。

全国2帳票について

バーチャート式工程表が全国1と違うため、バーチャートの左画面に配置人員の項目が追加されています。

種別、細別の項目はバーチャート式工程表には出力されませんが、ネットワーク風ならびにネットワーク式工程表に出力されます。

バーチャート式工程表の特徴として、バー出力の枠に進捗グラフとバナナ曲線が出力されます。

バナナ曲線登録画面

Index	上限値 (Upper Limit)	下限値 (Lower Limit)
0	0.0	0.0
1	40	1.5
2	10.0	3.0
3	16.0	5.5
4	22.0	8.0
5	28.5	11.5
6	35.0	15.0
7	40.5	19.5
8	46.0	24.0
9	53.0	29.0
10	60.0	34.0
11	66.0	39.5
12	72.0	45.0
13	78.0	51.0
14	84.0	57.0
15	88.0	64.5
16	92.0	72.0
17	94.5	78.5
18	97.0	85.0
19	98.5	92.5
20	100.0	100.0

[標準に戻す] ボタン
標準の設定が登録されます。

[キャンセル] ボタン
設定した内容を取り消し、
「工程表」画面に戻ります。

[OK] ボタン
設定した内容を登録し、
「工程表」画面に戻ります。

「工事名登録」画面

工事名登録

平成28年08月01日 ~ 平成28年12月31日

工事番号: 工事番号01
工事名: 工事名01
工事場所: 工事場所01
発注者: 発注者01
請負者: 請負者01
住所: 住所1
住所2
代表者名: 代表者名
現場代理人: 現場代理人01
実行予算: 2000,000

検索
 入力内容検索
 No.検索

工程終了 OK 終了

代表者名

代表者を 15 文字以内で入力します。

住所 1・2

住所を 15 文字以内で入力します。

「印刷設定」画面

バーチャート

種別出力

種別を出力するか、しないかの設定をします。

請負者詳細出力

請負者の住所と代表者名を出力するか、しないかの設定をします。

情報の登録は、「工事名登録」(全国2)画面(P.73)で行います。

横バー上の表示

作業開始日、終了日の出力をするか、しないかの設定を行います。

ロゴ出力

指定のロゴを出力するか、しないかの設定をします。埼玉県以外で使用する場合は、「しない」に設定します。

計画と実施の区分線

計画と実施の区分線を出力するかしないかの設定をします。

全国2 バーチャート印刷設定

用紙サイズ: A4

余白: 上: 10 mm, 下: 10 mm, 右: 10 mm, 左: 10 mm

種別出力: する, しない

種別詳細出力: する, しない

横バー上の表示: 日付表示, しない

用紙方向: 横, 縦

ロゴ出力: する, しない

タイトル: 工事工程表

休日出力: する, しない

出力形態: カラー出力, 白黒出力

	カラー出力	白黒出力	出力	変更指示	変更実施
計画	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実施10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バナナ曲線	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
休日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
長期休暇	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
空白時間	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
計画と実施の区分線	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

印刷: 印刷設定, レアウト表示, OK, キャンセル

工種別は20まで設定可能です。

補足

初期値の色は、当初計画は赤、実施は青です。
バナナ曲線の線種の初期値は、細い実線です。

ネットワーク風バーチャート



ログ出力

指定のロゴを出力するか、しないかの設定をします。埼玉県以外で使用する場合は、「しない」に設定します。

ネットワーク



ログ出力

指定のロゴを出力するか、しないかの設定をします。埼玉県以外で使用する場合は、「しない」に設定します。

参照

その他の設定については、「バーチャート印刷設定」(P.31)、「ネットワーク風バーチャート印刷設定」(P.34)、「ネットワーク印刷設定」(P.35)をご覧ください。

「項目名変更」画面

参照

[全国1]・[線説明共通]タブについては、「項目名変更」画面(P.23)をご覧ください。

ロゴ出力の例



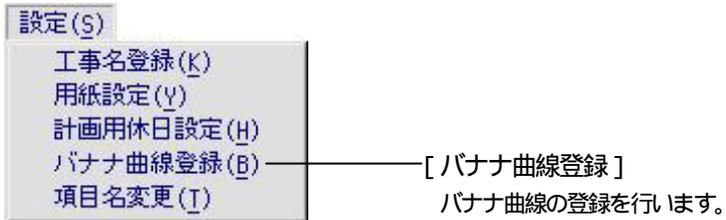
バーチャート工程表、
ネットワーク風バーチャート工
程表、ネットワーク工程表の右
下に指定のロゴを出力します。

補足

帳票の日付は和暦で出力されます。

「工程表」画面のメニュー

[設定] メニュー



付録

用紙の設定について

用紙サイズごとの印字可能範囲

「1目盛の設定」を幅13mm、単位10日、「余白」を全て10mmと設定し、当初計画データ、最終変更データ、実施データの3種類を出力する場合の用紙サイズごとの印字可能範囲は次の通りです。

用紙	縦				横			
	期間	進捗グラフ		期間	進捗グラフ			
		有り 工種数	無し 工種数		有り 工種数	無し 工種数		
A 4	1ヶ月	21	26	3ヶ月	11	16		
A 3	3ヶ月	35	40	6ヶ月	21	26		
A 2	6ヶ月	55	60	11ヶ月	35	40		
A 1	11ヶ月	83	87	17ヶ月	55	60		
A 0	17ヶ月	122	127	26ヶ月	83	87		
B 4	2ヶ月	29	33	5ヶ月	17	21		
B 3	5ヶ月	46	50	9ヶ月	29	33		
B 2	9ヶ月	70	75	14ヶ月	46	50		
B 1	14ヶ月	104	109	22ヶ月	70	75		

目盛の設定

「余白」をすべて10mmと設定したとき、「1目盛の設定」で設定する幅の目安は次の通りです。

「1目盛の設定」で単位を1日に設定する場合

(単位: mm)

用紙		期間			
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
A 4	縦	1	-	-	-
	横	4	1	-	-
A 3	縦	4	1	-	-
	横	8	2	1	-
A 1	縦	14	4	2	1
	横	22	7	3	1

「1目盛の設定」で単位を2日に設定する場合

(単位：mm)

用紙		期間			
		3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月
A 4	縦	1	-	-	-
	横	3	1	-	-
A 3	縦	3	1	-	-
	横	5	2	1	-
A 1	縦	8	4	2	1
	横	15	7	3	1

「1目盛の設定」で単位を3日に設定する場合

(単位：mm)

用紙		期間			
		3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月
A 4	縦	1	-	-	-
	横	4	2	1	-
A 3	縦	4	2	1	-
	横	8	4	2	1
A 1	縦	14	7	3	1
	横	20	10	5	2

「1目盛の設定」で単位を7日に設定する場合

(単位：mm)

用紙		期間			
		3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月
A 4	縦	4	2	1	-
	横	10	5	2	1
A 3	縦	10	5	2	1
	横	20	10	5	2
A 1	縦	30	15	8	4
	横	50	25	12	6

「1目盛の設定」で単位を10日に設定する場合

(単位：mm)

用紙		期間			
		3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月
A 4	縦	5	3	1	-
	横	15	8	4	2
A 3	縦	15	8	4	2
	横	25	10	7	3
A 1	縦	48	24	12	6
	横	70	35	18	9

「1目盛の設定」で単位を1月に設定する場合

(単位：mm)

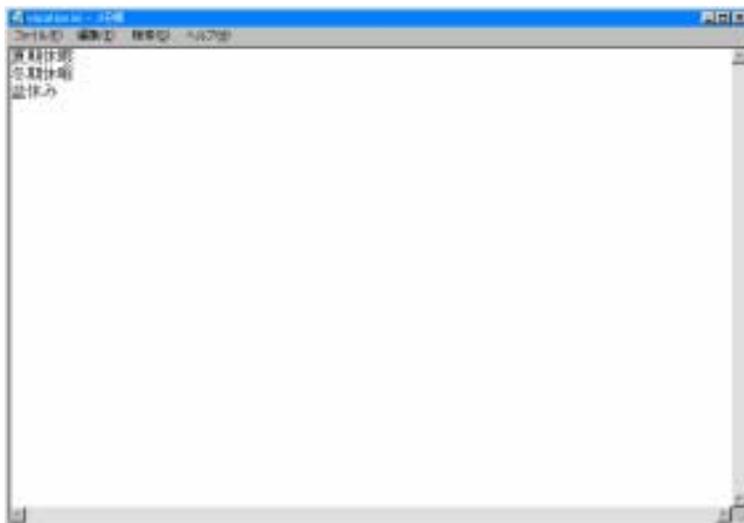
用紙		期間			
		3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月
A 4	縦	20	10	5	2
	横	40	20	10	5
A 3	縦	40	20	10	5
	横	80	40	20	10
A 1	縦	140	70	35	18
	横	200	100	50	28

「vacation.ini」ファイルの編集について

「計画用休日設定」画面（P.21）で「休暇名」のリストに表示されるものを編集します。

次の例は、「秋期休暇」を追加する場合は。

「工程表作成システム」のインストールフォルダにある「vacation.ini」ファイルをメモ帳で開きます。



休暇名を編集します。

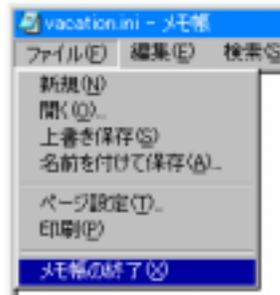


「vacation.ini」ファイルを上書き保存します。



「vacation.ini」ファイルが更新されます。

「vacation.ini」ファイルを閉じます。



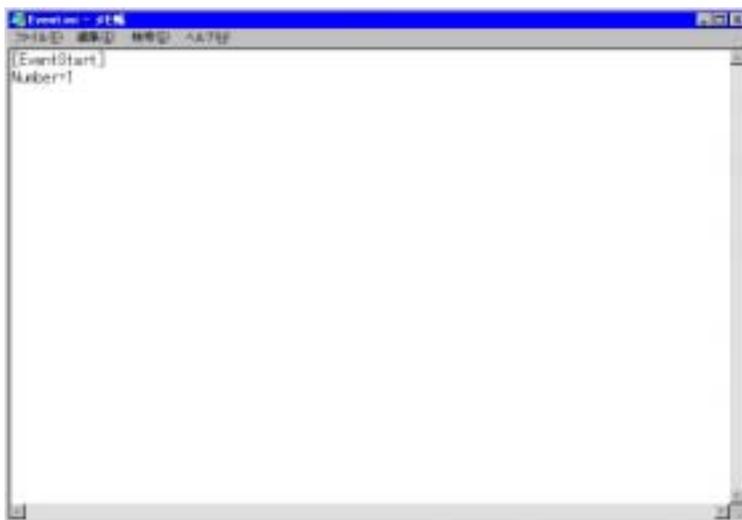
「計画用休日設定」画面を開くと、更新された「vacation.ini」ファイルの内容が「休暇名」のリストに表示されます。



「Event.ini」ファイルの変更について

ネットワーク工程表のイベント番号の開始を変更します。
次の例は、開始番号を、「1」から「0」にする場合です。

「工程表作成システム」のインストールフォルダにある「Event.ini」
ファイルをメモ帳で開きます。



開始番号を変更します。



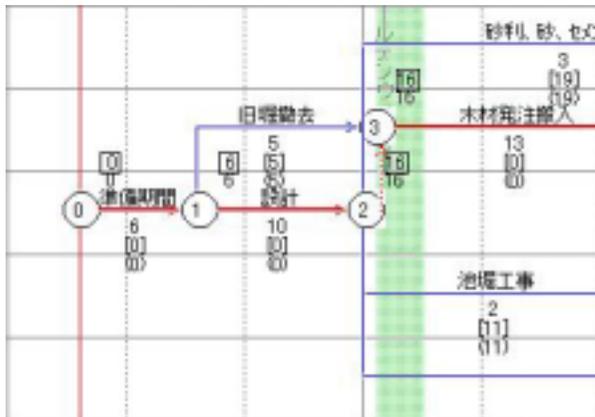
「Event.ini」ファイルを上書き保存します。



「Event.ini」ファイルが更新されます。

「Event.ini」ファイルを閉じます。

「ネットワーク工程表」画面を開くと、更新された「Event.ini」ファイルの番号よりイベント番号が作成されます。



「ItemEdit.ini」ファイルの変更について

項目名の規定値を変更します。

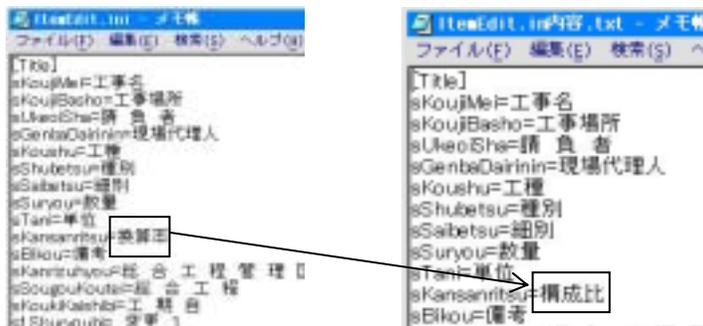
次の例は、バーチャート工程表の、「換算率」を「構成比」にする場合です。

「工程表作成システム」のインストールフォルダにある「ItemEdit.ini」ファイルをメモ帳で開きます。

```
[Title]
sKoujiMe=工事名
sKoujiBasho=工事場所
sUkeoShe=請負者
sGenbaDairin=現場代理人
sKoushu=工程
sShubetsu=種別
sSaibetsu=細別
sSuryou=数量
sTan=単位
sKansanritsu=換算率
sBikou=備考
sKanshuyou=総合工程管理[]
sBougokoutei=総合工程
sKoukiKashib=工  具  台
sShuryoub=変更 1

[System]
sKoujiMe=工事名
sKoujiBasho=工事場所
sUkeoShe=請負者
```

項目名の換算率を構成比へ変更します。



参照

「ItemEdit.ini」の項目名と「項目名変更」画面の対比は、(P.88)をご覧ください。

「ItemEdit.ini」ファイルを上書き保存します。



「ItemEdit.ini」ファイルが更新されます。

「ItemEdit.ini」ファイルを閉じます。

「項目名変更」画面を開いて、[規定値] ボタンを押すと、「ItemEdit.ini」ファイルの項目名が反映されます。

	工種	種別	種別	数量	累計数量	単位(構成比)	金額
1	架橋工	架橋工		1000	1000	円	
2	埋戻土工	土砂埋戻		10,000,000	10,000,000	m ³	
3	排水工	排水工		200,000	200,000	m	

補足 「項目名変更」画面の項目と「ItemEdit.ini」内の項目との対応はつぎのとおりです。



[Title]
 sKoujiMei=工事名
 sKoujiBasho=工事場所
 sUkeoiSha=請負者
 sGenbaDairinin=現場代理人
 skoushu=工種
 sShubetsu=種別
 sSaibetsu=細別
 sSuryou=数量
 sTani=単位
 skansanritsu=換算率
 sBikou=備考
 skanrizuhyou=総合工程管理図表 (%)
 sSougouKoutei=総合工程

sKoukiKaishibi=工期自
 s1Shuryoubi= 変更 1
 s2Shuryoubi= 変更 2
 s3Shuryoubi= 変更 3
 s4Shuryoubi= 変更 4
 s5Shuryoubi= 変更 5
 s6Shuryoubi= 変更 6
 s7Shuryoubi= 変更 7
 s8Shuryoubi= 変更 8
 s9Shuryoubi= 変更 9
 s10Shuryoubi= 変更 10
 sKoukiShuryoubi= 至

sTousho=当初
sJisshi=実施

[Line]
sKoukiKaishisen=工期開始
sKoukiShuryousen=工期終了

項目名変更画面

組合工事

種別グラフ表示部の日付欄

項目	日付	工期開始	工期開始	工期終了	工期終了
変更1	第1変更	変更1指示日	変更1実施日	変更1開始日	変更1終了日
変更2	第2変更	変更2指示日	変更2実施日	変更2開始日	変更2終了日
変更3	第3変更	変更3指示日	変更3実施日	変更3開始日	変更3終了日
変更4	第4変更	変更4指示日	変更4実施日	変更4開始日	変更4終了日
変更5	第5変更	変更5指示日	変更5実施日	変更5開始日	変更5終了日
変更6	第6変更	変更6指示日	変更6実施日	変更6開始日	変更6終了日
変更7	第7変更	変更7指示日	変更7実施日	変更7開始日	変更7終了日
変更8	第8変更	変更8指示日	変更8実施日	変更8開始日	変更8終了日
変更9	第9変更	変更9指示日	変更9実施日	変更9開始日	変更9終了日
変更10	第10変更	変更10指示日	変更10実施日	変更10開始日	変更10終了日

OK Cancel 終了

sHenkou1=第1変更
s1Shijisen=変更1指示日
s1Jisshisen=変更1実施日

sHenkou2=第2変更
s2Shijisen=変更2指示日
s2Jisshisen=変更2実施日

sHenkou3=第3変更
s3Shijisen=変更3指示日
s3Jisshisen=変更3実施日

sHenkou4=第4変更
s4Shijisen=変更4指示日
s4Jisshisen=変更4実施日

sHenkou5=第5変更
s5Shijisen=変更5指示日
s5Jisshisen=変更5実施日

sHenkou6=第6変更
s6Shijisen=変更6指示日
s6Jisshisen=変更6実施日

sHenkou7=第7変更
s7Shijisen=変更7指示日
s7Jisshisen=変更7実施日

sHenkou8=第8変更
s8Shijisen=変更8指示日
s8Jisshisen=変更8実施日

sHenkou9=第9変更
s9Shijisen=変更9指示日
s9Jisshisen=変更9実施日

(全国2)

sKoushu=工種
 sShubetsu=種別
 sSekkeiSuryou=設計数量
 sTani=単位
 sHaitiJinin=一日平均配置人員
 sJitsunissu=実日数
 sKouseihi=工事費構成比%
 sShintyokuritsu=進捗率
 sBikou=備考

[Saitama]
 sKoujime=工事名
 sKoujiKasho=工事箇所
 sKouki=工期
 sUkeoiGaku=請負額
 sKanriKyokusen=工程管理曲線
 sKouteiKyokusen=工程曲線
 sUkeoiSha=請負者
 sJusho=住所
 sDaihyoShamei=代表者名
 sGenbaDairinin=現場代理人

sBikou1=備考 1. 工程管理曲線は、一般にバナナ曲線と言われており、上限管理限界と下限管理限界を示すものである。
 sBikou2=備考 2. 工程曲線は、一般にS字カーブと言われている。

(全国2)

[Ukeoi]
 sJusho=住所 1
 sJusho2=住所 2
 sDaihyoShamei=代表者名
 sGenbaDairinin=現場代理人

こんなときには

「工程表作成システム」を操作中に、エラーメッセージが表示されることがあります。その原因と対処方法は次の通りです。

「余白の値は1～50の範囲で行って下さい。」

- 原因
B3未満の用紙で余白の値が1～50の範囲外で設定されています。
- 対処
余白の値を1～50の範囲で設定しなおします。
50mm～100mmの設定はB3以上のみ指定できます。

「工期は5年以内にして入力して下さい。」

- 原因
工期が5年を超えて設定されています。
- 対処
工期を5年以内に設定しなおします。

「工期外です。和暦で入力して下さい。」

- 原因
長期休暇が工期の範囲外で設定されています。
長期休暇で設定された日にちの入力方法が誤っています。
- 対処
長期休暇を工期の範囲内で設定しなおします。
長期休暇で設定された日にちを正しく入力しなおします。
<入力例> H120811、H12/08/11、平成12年08月11日

「換算率が100になるように入力して下さい。」

- 原因
全工種の換算率の合計が100になっていません。
- 対処
全工種の換算率の合計が100になるように入力しなおします。

「金額の合計が請負金額（実行予算）と等しくなるように入力して下さい。」

- 原因
全工種のコストの合計が請負金額または実行予算と異なります。
- 対処
全工種のコストの合計が請負金額または実行予算と等しくなるように入力しなおします。

「日付が重なっています。」

- 原因
同一行で工種の一部または全部が重なっています。
- 対処
同一行で工種が重ならないように入力しなおします。

「累計数量が設計数量を超えました。」

- 原因
累計数量が数量より大きくなっています。
- 対処
あとで設計数量が変更になる場合は先に進めてもいいですが、それ以外は入力間違いと思われるので、累計数量が数量より大きくならないように入力します。

「後ろのセルの値より小さいか等しい値を入力してください。」

- 原因
後ろのセルの値より大きい値が入力されています。
- 対処
後ろのセルより小さいか等しい値を入力してください。

「前のセルの値より大きいか等しい値を入力してください。」

- 原因
数量が前のセルの値より小さい値が入力されています。
- 対処
前のセルの値より大きいか等しい値を入力してください。

「このファイルはCSVファイルでない為処理を中止します。」

- 原因
工程データ取込処理でCSV以外のファイルを選択されています。
- 対処
CSVファイルを選択して下さい。

「日付の形式が正しくありません。」

- 原因
工程データ取込処理で取込む工期のデータが正しくありません。
- 対処
CSVファイル内の工期データを正しく修正して下さい。

用語の説明

「工程表作成システム」で使用される用語および、ネットワーク工程表の表記で使用される用語について説明します。

バーチャート

最も一般的に使われている工程表であり、各部分工程を縦方向に列挙し、横軸に日数を取り、施行予定期間と実施施行期間を記入して作成されます。ガントチャートの欠点を改良したもので、各工程の所要日数が明確化され、各工程相互間の関連性も示されます。

ネットワーク風バーチャート

バーチャートを基にバーチャートの各作業の後続作業との関連を矢線で表現しています。

ネットワーク式工程表

各工程の開始と終了をイベント（結合点）と呼ばれる印で示し、アクティビティ（作業）を矢線で表現したネットワーク図式表現により、各工程間の順序、関連性等が明確化され、工期に大きく影響する最重点経路を明確に表現することができます。

最早開始時刻

対象作業が最も早く開始できる時刻を示します。

最遅開始時刻

工期を延ばさないで仕事を完成させるために、遅くても作業を開始しなければならない限界の時刻を示します。

最早完了時刻

最も早く作業を開始した場合のその作業の完了時刻を示します。

最遅完了時刻

所定の工期で仕事を完成させる為に各作業が遅くとも完了していなければならない時刻を示します。

アクティビティ

アクティビティは矢線で示し、進行方向を表します。通常左から右に向かって引かれます。矢線の長さは、所要時間に無関係です。矢線の尾が作業開始、頭が作業完了を示します。矢線の上に、そのアクティビティの作業内容（作業名）を書き、矢線の下には所要時間を書きます。作業時間は通常（日）で表します。

イベント（結合点）

矢線またはダミーの両端につける記号で、一般に 印で表示し、その中に正整数の番号を付けます。これをイベント番号と呼びます。イベント番号は同じ番号が2つあってはなりません。また通常左から右方向に向かって昇順に付与します。

ダミー

作業の相互関係を図示する為に補助的に用いる矢線のことを示し、一般に破線で、所要時間0で関係のみを表現します。

トータルフロート（全余裕）

最遅完了時刻から、作業所要時間と前イベントまでの最早開始時刻の和を減じた余裕時間であり、所要時間の下の〔 〕内に記入します。

フリーフロート（自由余裕）

最早開始時刻から、作業所要時間と前イベントまでの最早開始時刻の和を減じた余裕時間であり、トータルフロートの下の（ ）内に記入します。

クリティカルパス

各経路の中で最も時間の長いもので、余裕のない経路をいいます。工期はこの長さにより定まり、この経路上の作業は重点管理の対象となります。工程表作成システムではこの経路を赤で表現しています。

空白期間

発注者の都合または気象条件等により、作業が発生しない期間を示します。

バナナ曲線

アメリカの代表的道路工事の実績から研究されたもので、道路工事における工事進捗状況の許容安全区域の上下限界を示した工程管理曲線である。予定工程曲線が許容限界内に入らない場合、不合理な工程計画であると考えられ、調整が必要となる。

Windows98/Me/2000/XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名、製品名は、各会社の商標または登録商標です。本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

(C) 2005 WESTFIELD CO., LTD